

「情報Ⅰ」のご指導に関するアンケート 集計結果のご報告

アンケートへのご協力に、厚く御礼申し上げます。
集計結果のご報告をさせていただきます。

「情報Ⅰ」のご指導について、
現在の状況、課題を知る資料として、参考になれば幸いです。

先生方からいただいたご意見をもとに、
ご満足いただける商品・サービスの提供に努めてまいります。

2022/10/7

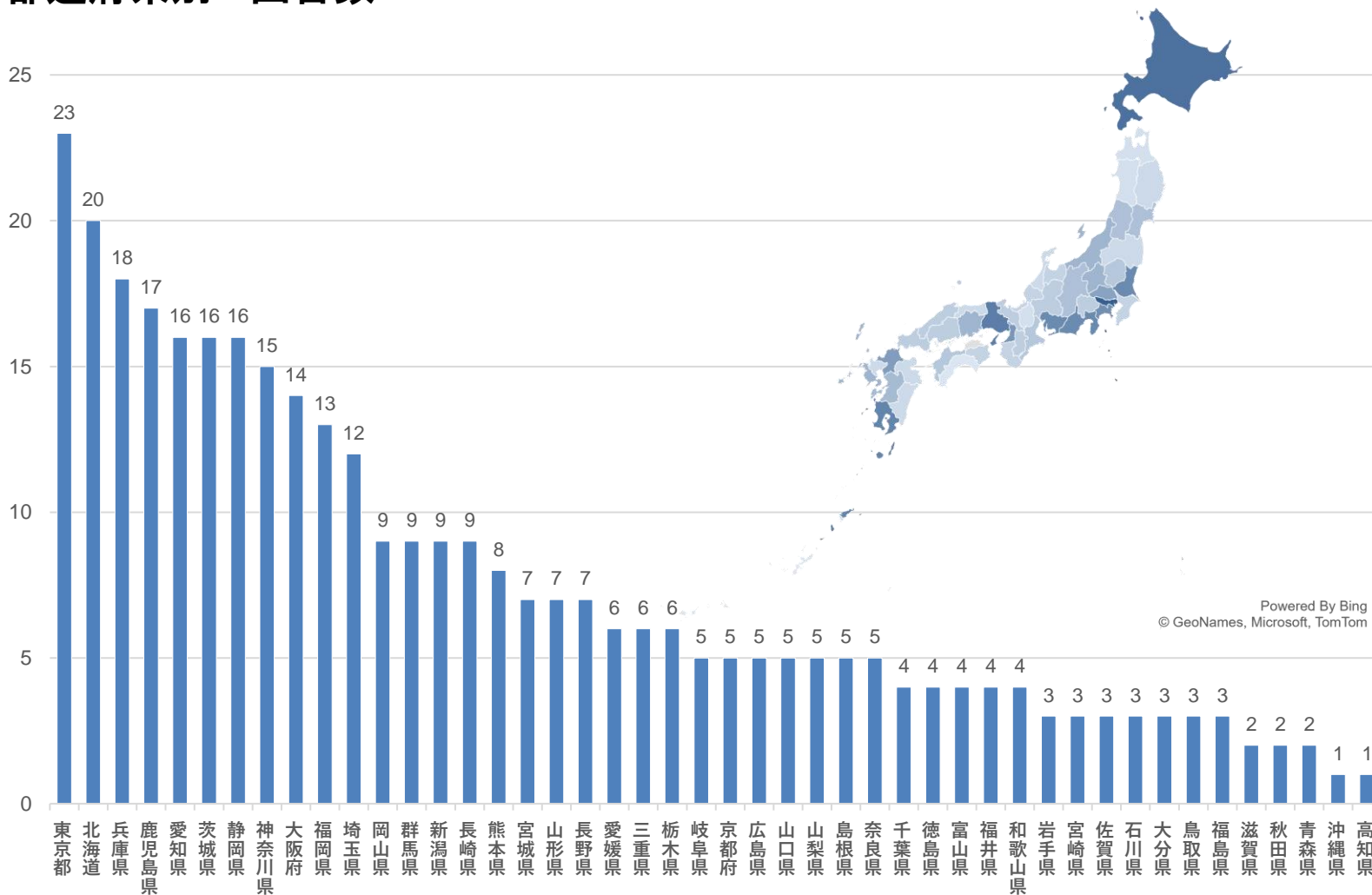


1) 「情報Ⅰ」のご指導に関するアンケートの概要

調査テーマ	「情報Ⅰ」のご指導について、使用教科書とその選定理由、教科指導での課題、受験指導での課題等に関するアンケート
調査方法	WEBによるご回答
調査対象	全国の国公立・私立高等学校、中等教育学校の「情報」ご担当先生
調査時期	2022年5月18日(水)～7月1日(金)
有効回収数	347校

1) 全体の状況

① 都道府県別ご回答数

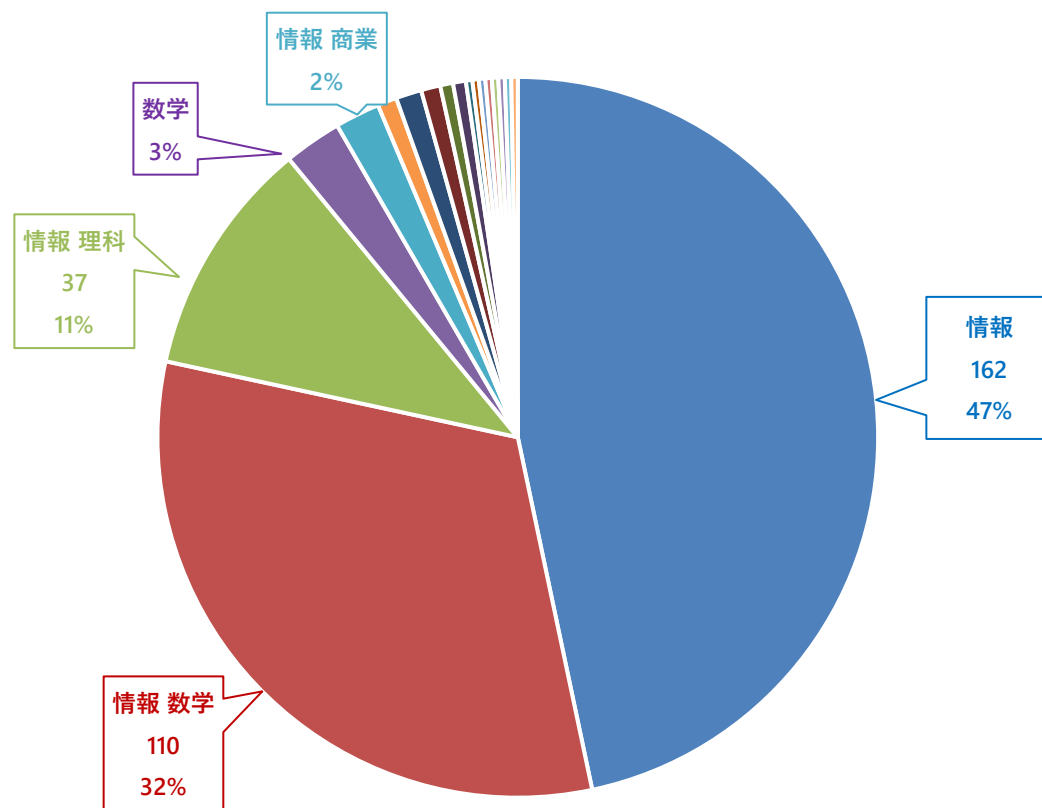


Powered By Bing
© GeoNames, Microsoft, TomTom

1) 全体の状況

② ご担当教科(複数回答あり)

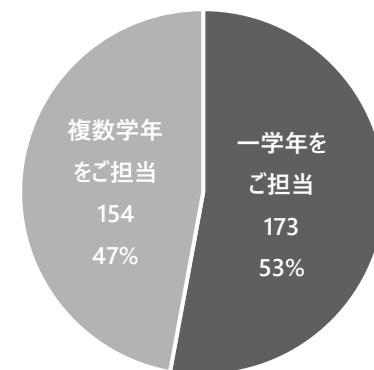
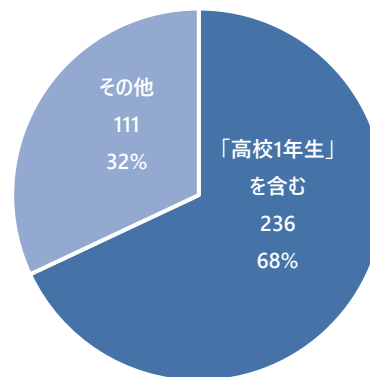
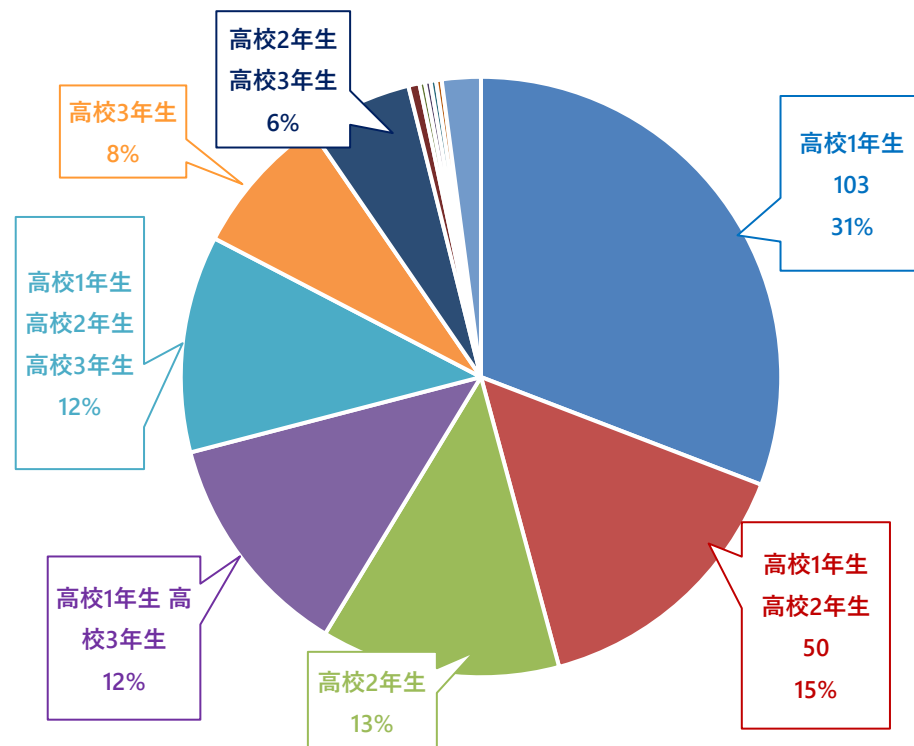
情報	162
情報 数学	110
情報 理科	37
数学	9
情報 商業	7
情報 英語	3
情報 地理歴史 公民	4
情報 家庭科	3
理科	2
情報 その他	2
情報 技術	1
情報 芸術	1
情報 工業	1
情報 国語	1
情報 保健体育	1
地理歴史	1
英語	1
その他	1



1) 全体の状況

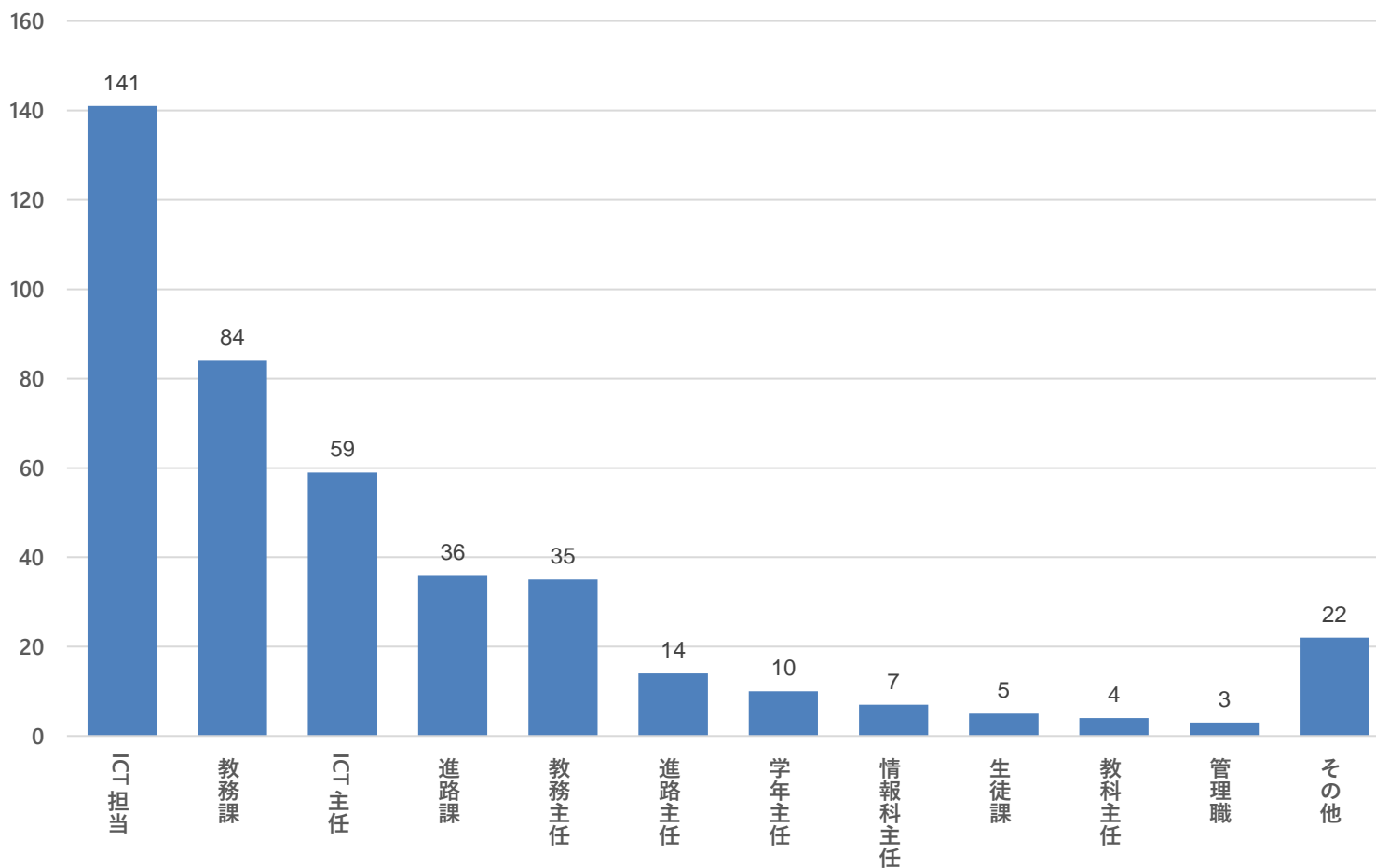
③ ご担当学年(複数回答あり)

高校1年生	103
高校1年生 高校2年生	50
高校2年生	43
高校1年生 高校3年生	41
高校1年生 高校2年生 高校3年生	39
高校3年生	26
高校2年生 高校3年生	19
高校1年生 中学生	2
高校1年生 高校3年生 中学生	1
高校2年生 中学生	1
高校3年生 中学生	1
中学生	1
その他(教務課専任、学年外、非常勤講師につき所属なし)	7
未回答	13

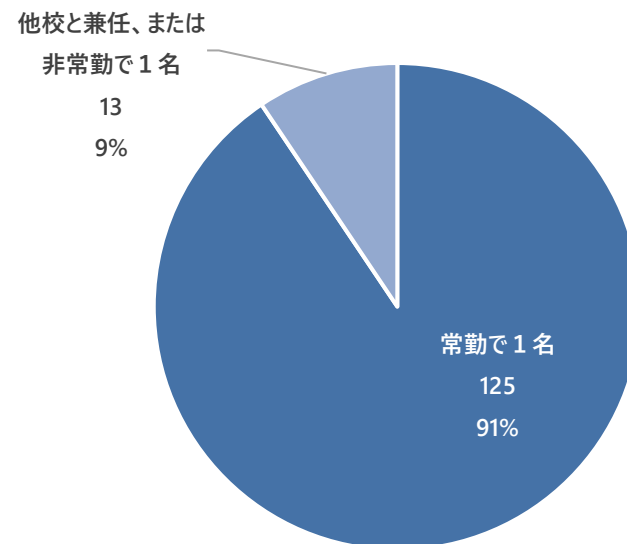
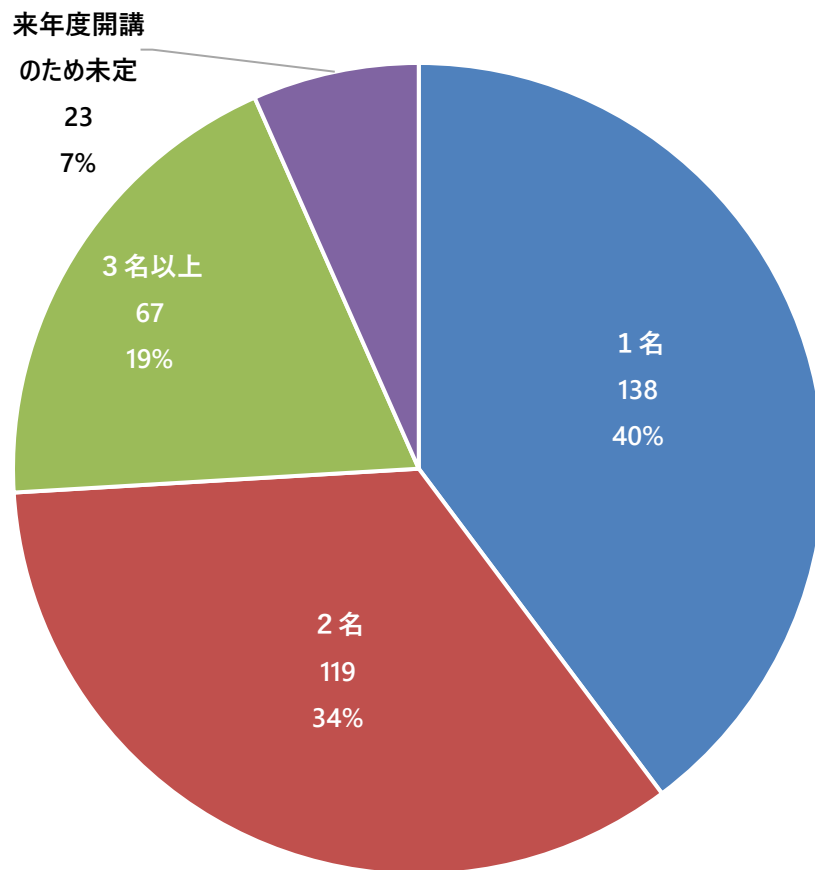


1) 全体の状況

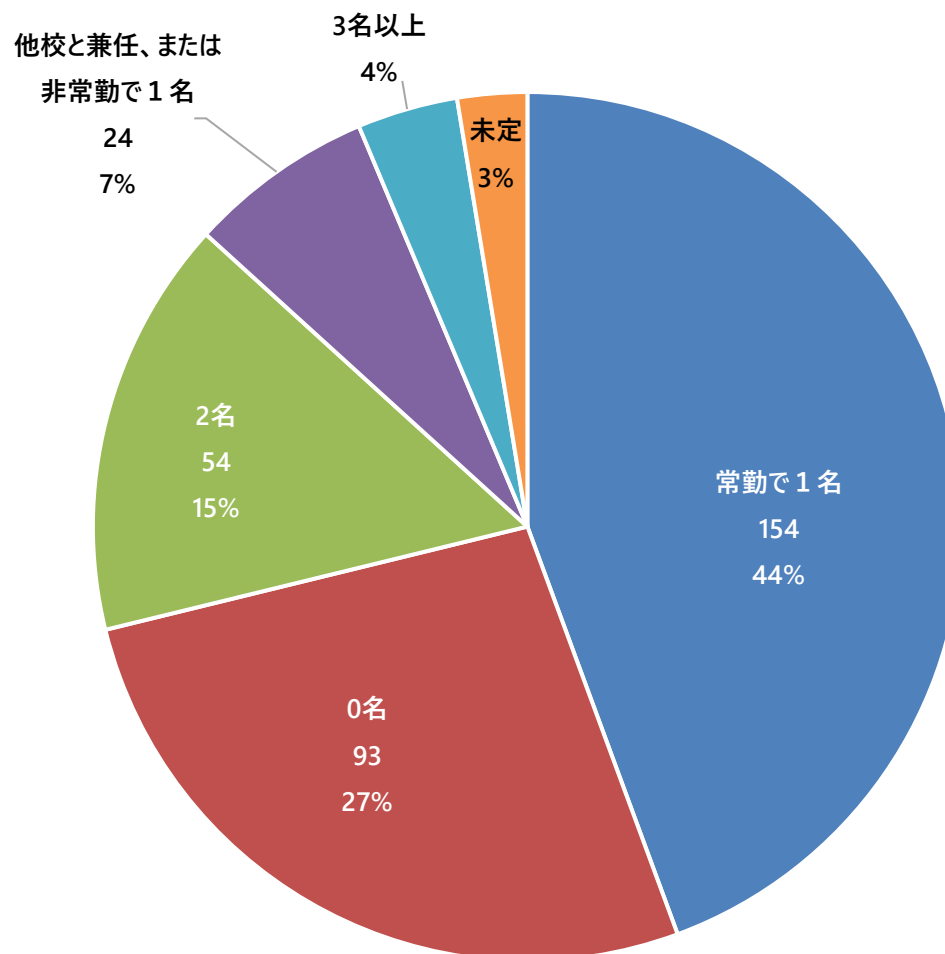
④ 校務分掌(複数回答あり)



Q1 御校で「情報Ⅰ」の授業をご担当される先生は何名でしょうか。

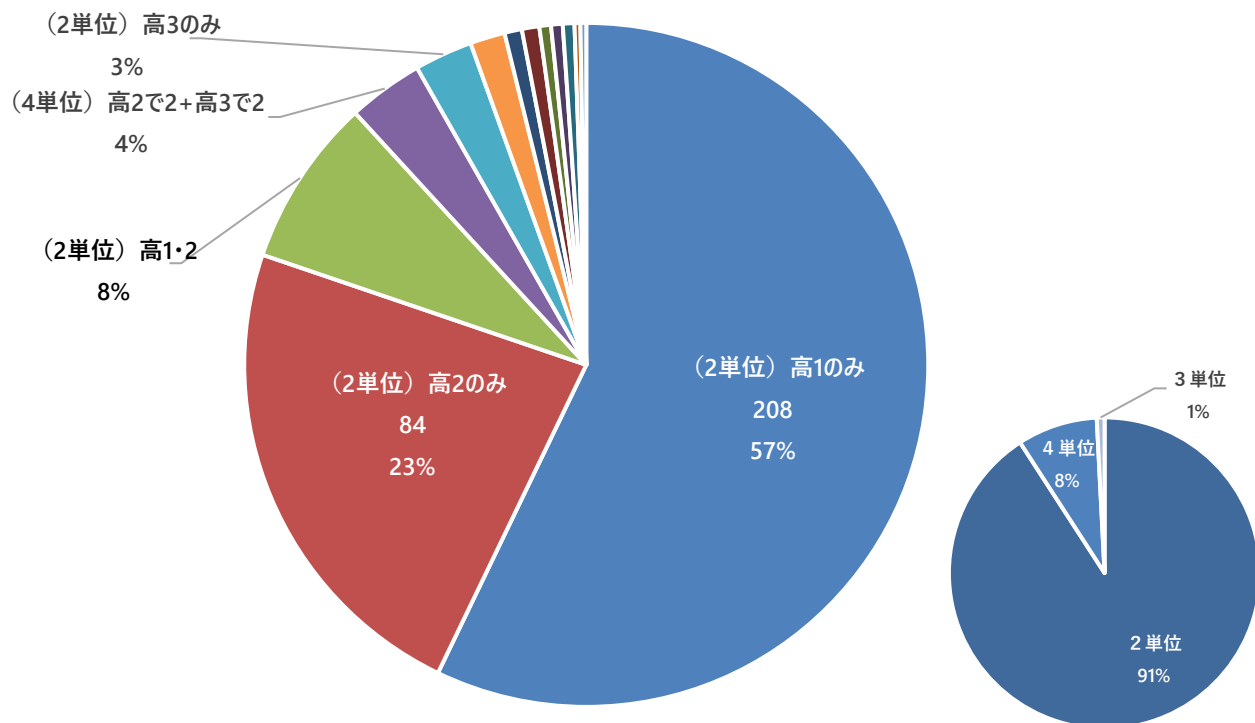


Q2 御校で「情報」を専任でご担当される先生は何名でしょうか。



Q3 御校の「情報Ⅰ」のカリキュラムを教えてください。(複数回答可)

(2単位) 高1のみ	208
(2単位) 高2のみ	84
(2単位) 高1・2	29
(4単位) 高2で2+高3で2	13
(2単位) 高3のみ	10
その他 (SSH、学校設定科目など)	6
(2単位) 高2・3	3
(3単位) 高1で2+高3で1	3
(2単位) 高1・3	2
(4単位) 高1で2+高2・3で各1	2
(2単位) 一貫生は中3で1+高1で1	2
(3単位) 高2で2+高3で1	1
検討中	1



高1で2単位履修している学校が57%で、高2で履修する学校が23%です。

学習指導要領には、「学習の基盤となる情報活用能力を更に高めることができるよう、他の教科・科目との連携を図ること」とあり、そのためにも早い段階での履修が望ましいと思われます。また、「原則として同一年次で履修させること」とあることと併せて、**高1で2単位開講が主流**と言えます。

⇒ 「**学習の基盤**」となる「**資質・能力**」

「言語能力」

「**情報活用能力(情報モラル含む)**」

「問題発見・課題解決能力」

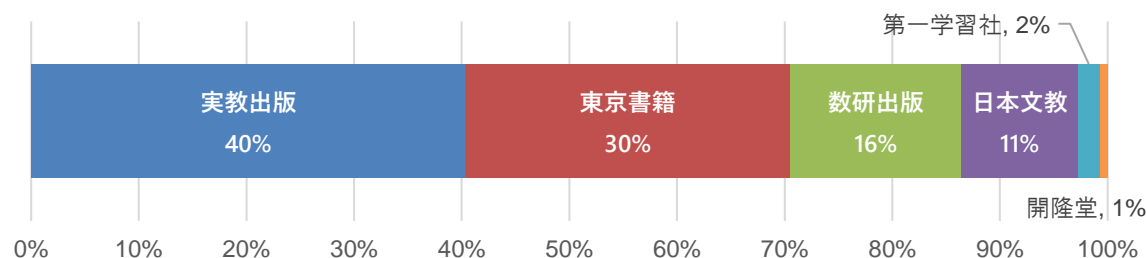
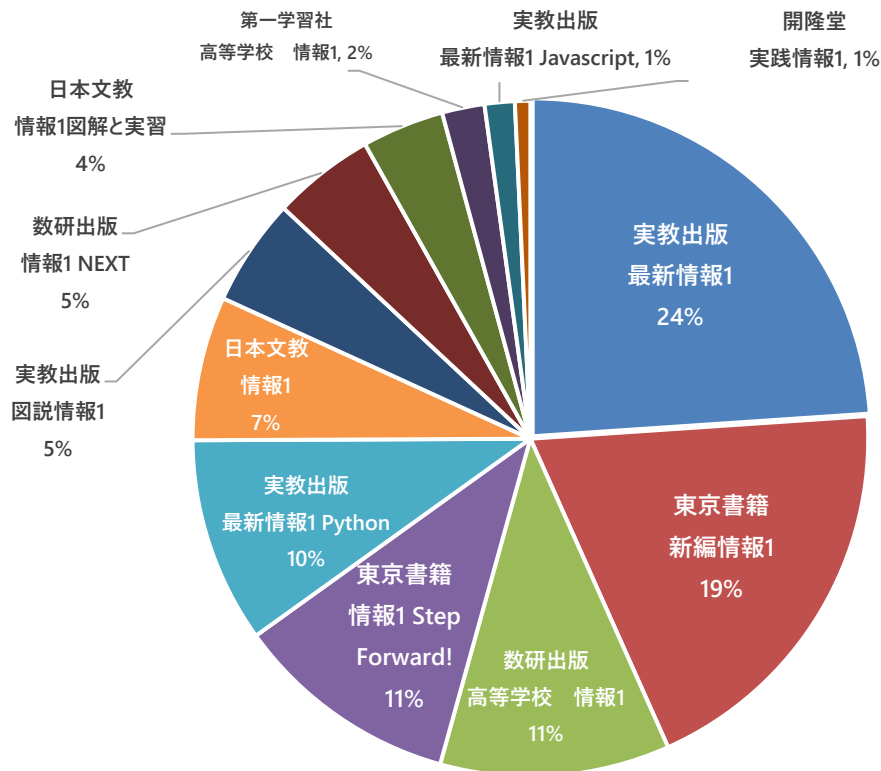
Q4 御校でご採用またはご採用予定の「情報Ⅰ」の教科書を教えてください。

Q4の結果を
割愛します。

参考資料

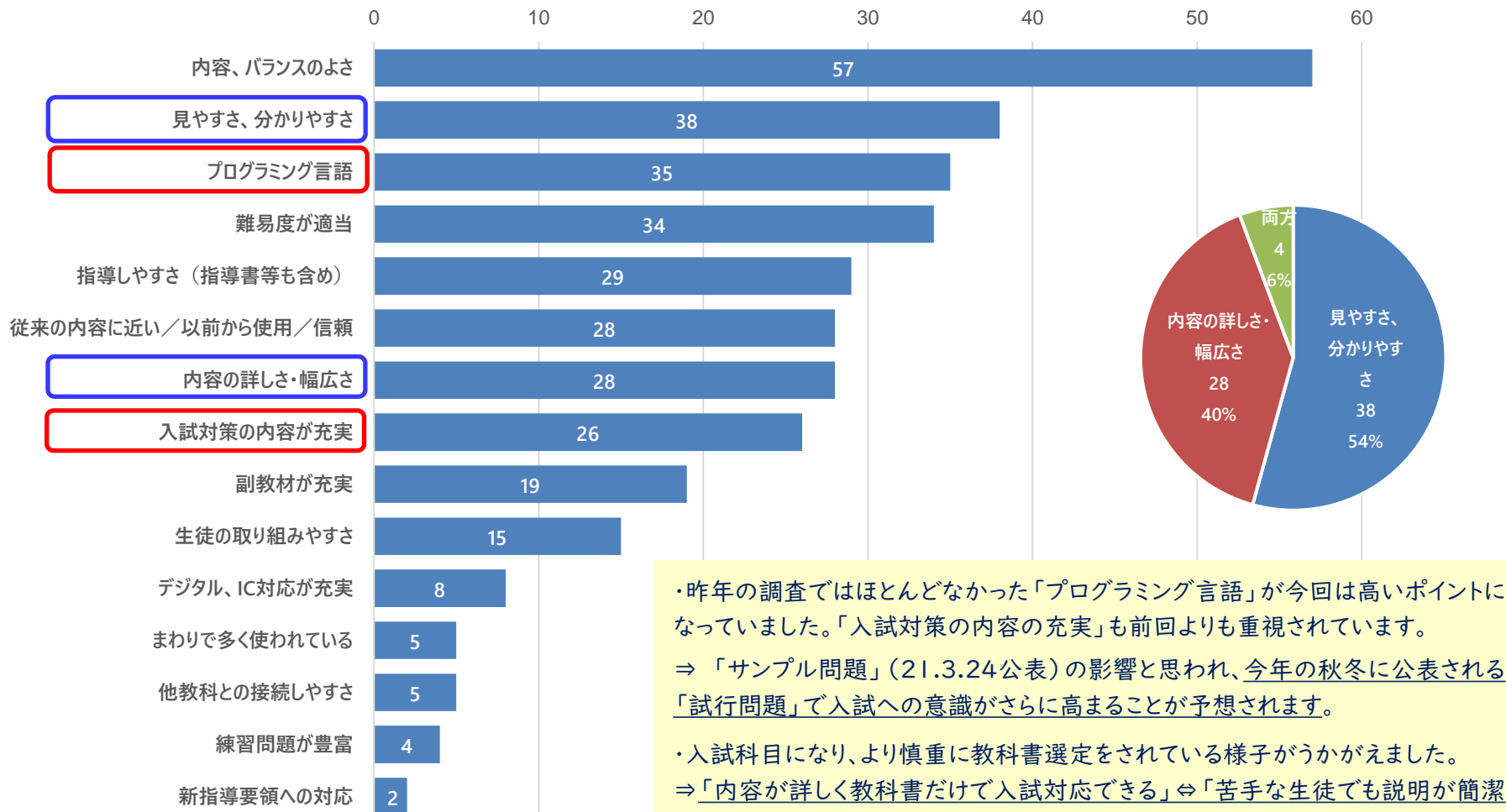
出典：令和4年度使用 高等学校用 種目別需要数 第Ⅰ部（文部科学省）

出版社／種類	需要数
実教出版 最新情報1	172,280
東京書籍 新編情報1	139,553
数研出版 高等学校 情報1	79,112
東京書籍 情報1 Step Forward!	77,653
実教出版 最新情報1 Python	70,817
日本文教 情報1	49,638
実教出版 図説情報1	36,975
数研出版 情報1 NEXT	35,273
日本文教 情報1 図解と実習	28,308
第一学習社 高等学校 情報1	14,641
実教出版 最新情報1 Javascript	10,372
開隆堂 実践情報1	5,283



Q5 「情報 I」の教科書の採用決定ポイントを教えてください。

フリーアンサーを以下の理由に分類・集計



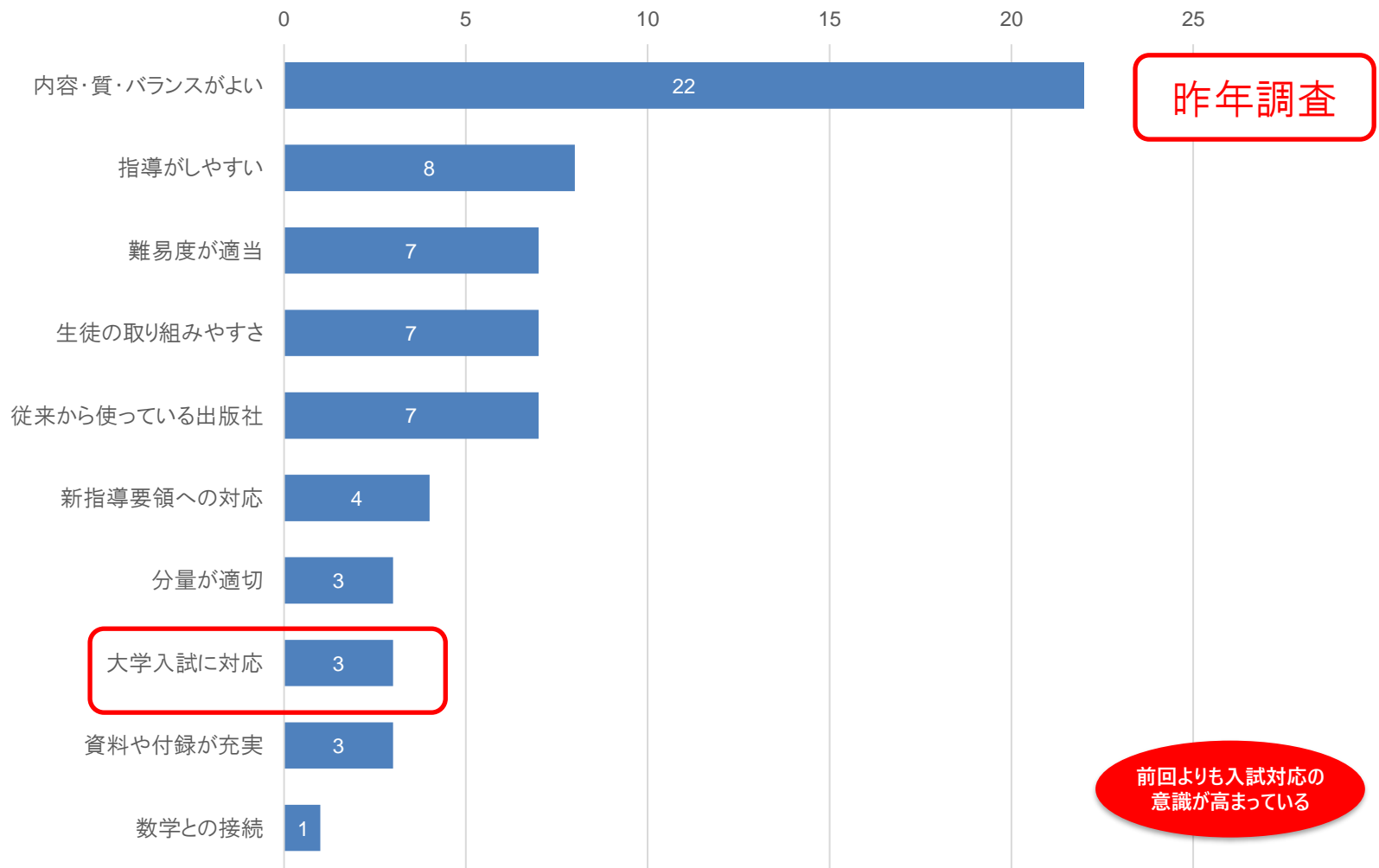
・昨年の調査ではほとんどなかった「プログラミング言語」が今回は高いポイントになっていました。「入試対策の内容の充実」も前回よりも重視されています。

⇒ 「サンプル問題」(21.3.24公表)の影響と思われる、今年の秋冬に公表される「試行問題」で入試への意識がさらに高まることが予想されます。

・入試科目になり、より慎重に教科書選定をされている様子がうかがえました。
⇒ 「内容が詳しく教科書だけで入試対応できる」⇔「苦手な生徒でも説明が簡潔で分かりやすい、図やイラストが豊富でイメージをつかみやすい」(円グラフ)。

Q5 「情報Ⅰ」の教科書の採用決定ポイントを教えてください。

フリーアンサーを以下の理由に分類・集計



Q5 「情報 I」の教科書の採用決定ポイントを教えてください。

フリーアンサーを以下の理由に分類・集計

	内容・バランスのよさ	プログラミング言語	見やすさ、分かりやすさ	難易度が適当	指導しやすさ(指導書等も含め)	従来の内容に近い/以前から使用	内容の詳しさ・幅広さ	入試対策の内容が充実	副教材が充実	生徒の取り組みやすさ	デジタル、IC対応が充実	他教科との接続しやすさ	まわりで多く使われている	練習問題が豊富	新指導要領への対応
最新情報 I (実教出版)	8	5	6	9	8	15	3	1	5	3	2	0	2	2	0
情報 I Step Forward! (東京書籍)	15	3	6	8	6	3	1	10	4	4	3	0	2	0	1
高校情報 I Python(実教出版)	11	16	1	5	5	3	13	7	1	0	1	0	0	2	0
新編情報 I (東京書籍)	6	3	10	3	5	2	1	0	3	4	0	0	0	0	0
高等学校 情報 I (数研出版)	8	3	3	0	2	1	2	2	5	0	2	5	0	0	0
情報 I (日本文教)	7	0	0	1	0	2	6	0	0	0	0	0	0	0	1
図説情報 I (実教出版)	0	1	3	1	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
情報 I 図解と実習(日本文教)	0	0	2	1	1	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0
情報 I (第一学習社)	1	2	1	1	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0
情報 I (第一学習社)	1	2	1	1	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0
情報 I Next(数研出版)	0	1	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
実践情報 I (開隆堂)	1	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
高校情報 I JavaScript(実教出版)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	58	37	35	31	28	27	26	22	19	16	8	5	4	4	2

「内容・バランスのよさ」……「プログラミング、情報デザインの内容がちょうどよい」「実例が豊富」「教科書の各所で問題解決をベースにしている」「情報の科学と情報と社会の両方をうまくまとめている」

「プログラミング言語」……「共通テストの疑似言語が Python と似ている」「プログラミング言語で Python を扱っている」

「分量、詳しさ」……「取り扱い内容・幅の深さ」「カバーしている範囲が広い」「内容が充実、特に発展的な内容に」

「入試対策」……「共通テストを意識した内容」「入試対策問題集と一緒に出版されている」「教科書のみで入試に対応できそう」

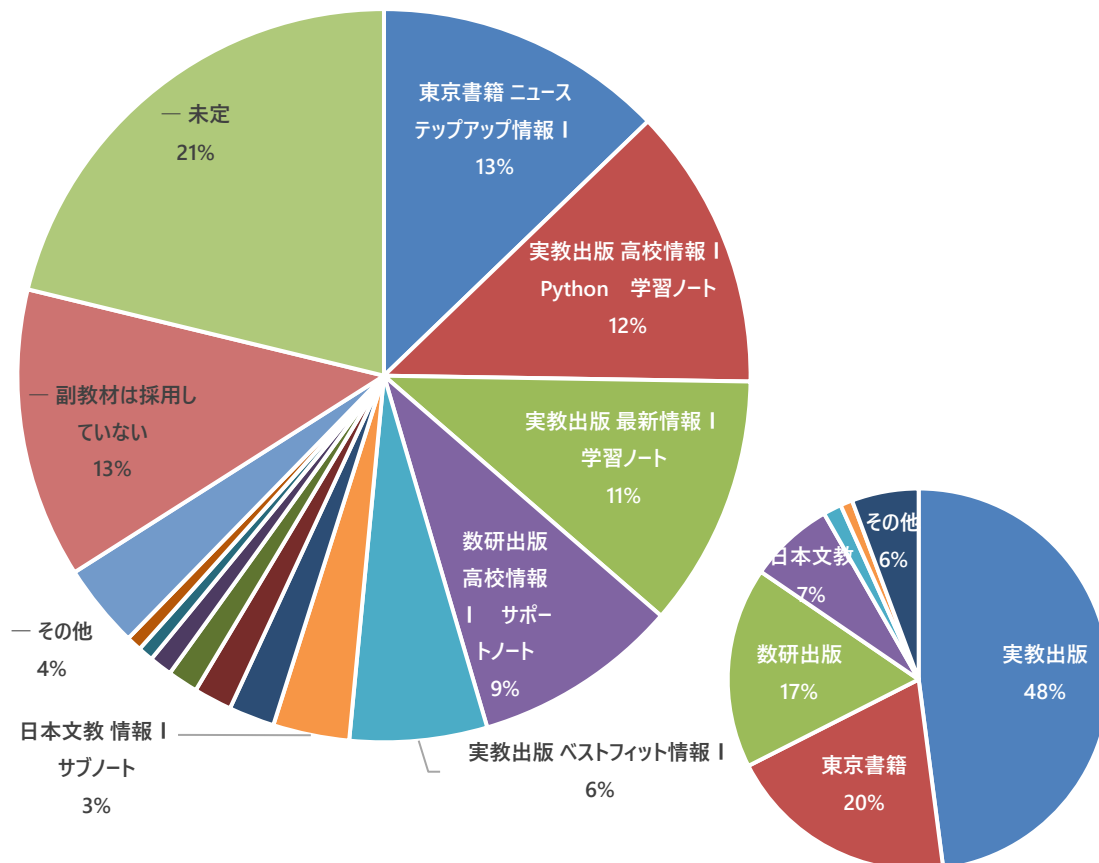
「見やすさ、分かりやすさ」……「1項目1見開きでコンパクトにまとめている」「導入として取り上げやすい1コマ漫画」「画像やイラスト等が豊富で初学者に易しい。取っ掛かりが掴みやすいため。逆に問題集は教科書より難し目にした。」「具体例が多く、身近な事例を捉えられる」

「指導しやすさ」……「学習指導要領との関連が分かりやすい」「問題解決を主とした授業が展開しやすい」「見開き1ページで1時間なので授業設計しやすい」「板書PDFの充実」

「生徒の取り組みやすさ」……「図解が分かりやすく、生徒が自身で学びを得られる機会が多い」「具体例が多く身近な事例を捉えられる」「生徒が独力で読み進められる」「アルゴリズムやプログラミングの難易度がやさしく初心者でも取り組みやすい」

Q6 御校でご採用またはご採用予定の「情報Ⅰ」の副教材を教えてください。(複数回答可)

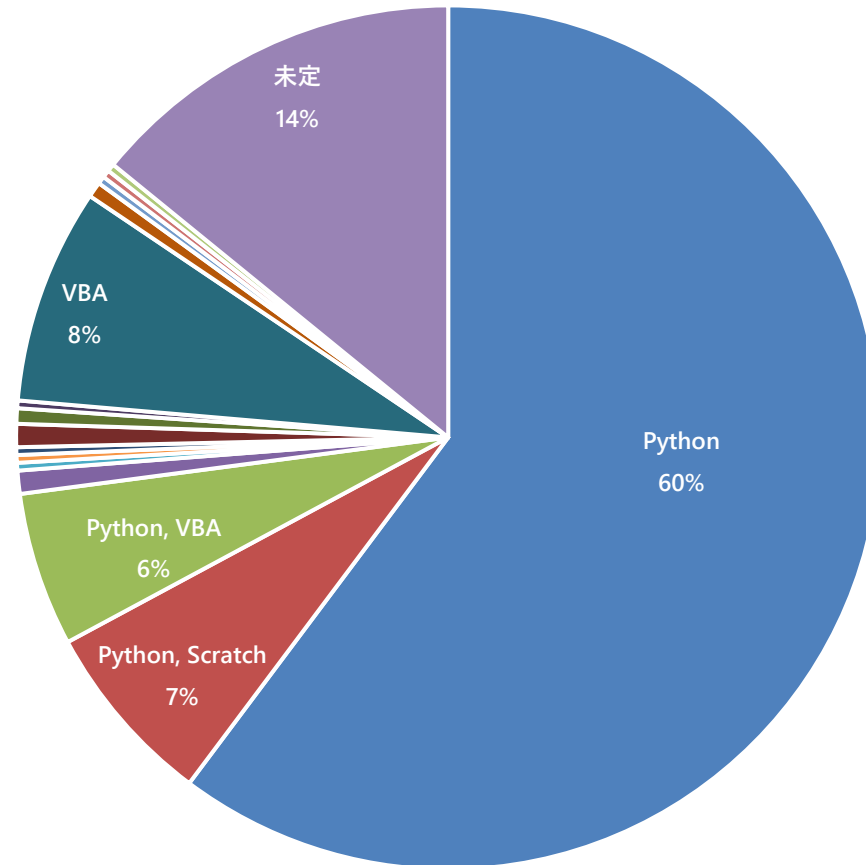
出版社	種類	回答数
東京書籍	ニューステップアップ情報Ⅰ	38
実教出版	高校情報Ⅰ Python 学習ノート	37
実教出版	最新情報Ⅰ 学習ノート	33
数研出版	高校情報Ⅰ サポートノート	27
実教出版	ベストフィット情報Ⅰ	18
日本文教	情報Ⅰ サブノート	10
数研出版	情報Ⅰ Next サポートノート	6
実教出版	図説情報Ⅰ 学習ノート	5
日本文教	図解と実習サブノート	4
第一学習社	情報Ⅰ 学習ノート	3
lifeflife is tech	レッスン (Web教材)	2
ベネッセ	Pスタディ	1
—	自作教材	2
—	その他	10
—	副教材は採用していない	38
—	未定	63



副教材採用の出版社の割合は、教科書採択の状況とほぼ同様です。

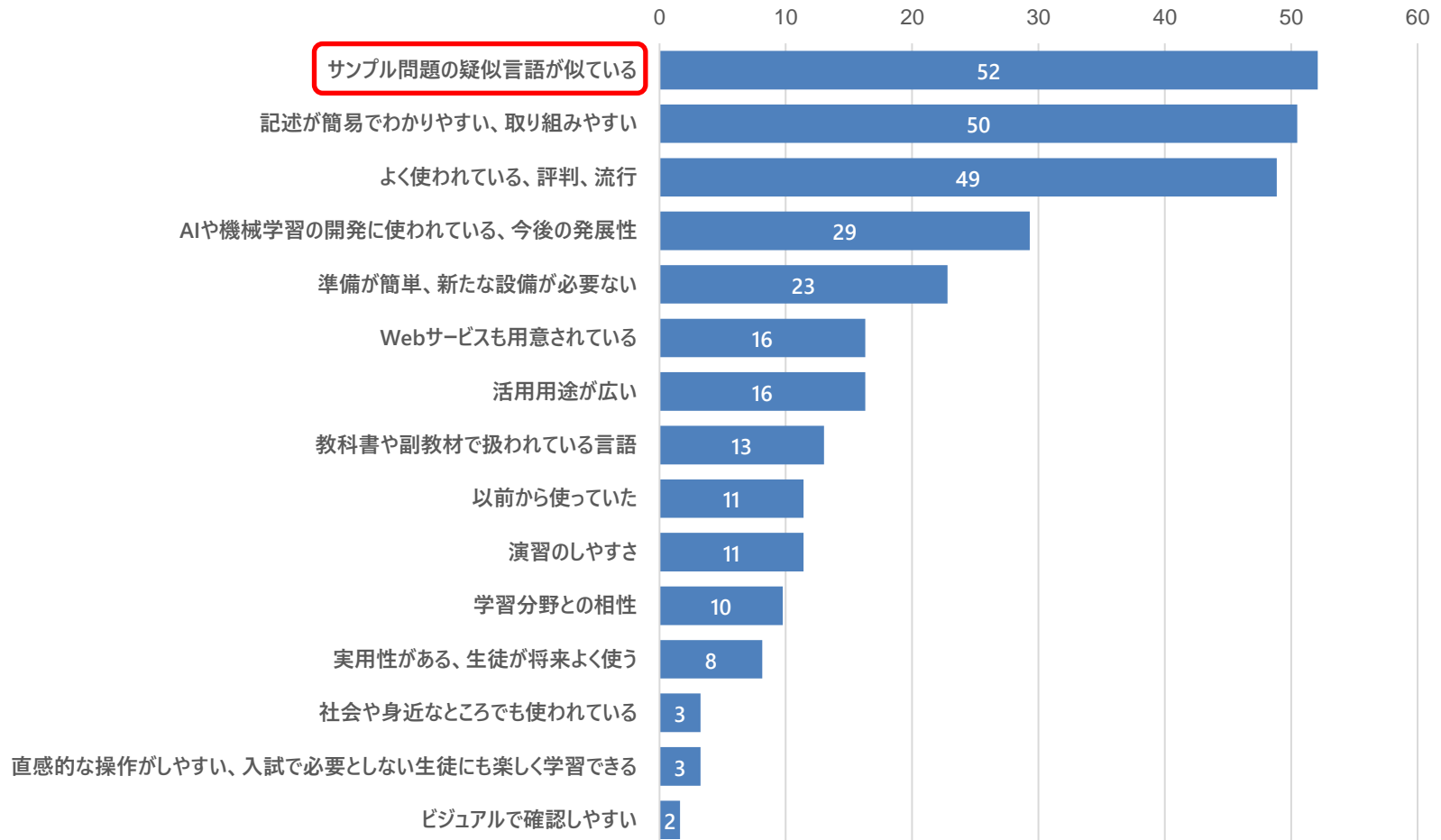
Q7 プログラミング指導で用いるプログラミング言語を教えてください。(複数回答可)

区分	回答数
Python	209
Python, Scratch	24
Python, VBA	20
Python, ドリトル	3
Python, C	1
Python, HTML	1
Python, R	1
Python, VBA, Scratch	3
Python, VBA, HTML	2
Python, R, HTML	1
VBA	28
Scratch	2
Swift	1
ドリトル	1
その他	1
未定	49



Q8 プログラミング言語の選定理由を教えてください。

フリーアンサーを以下の理由に分類・集計

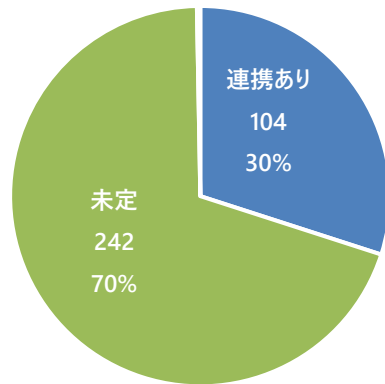


Q8 プログラミング言語の選定理由を教えてください。

フリーアンサーを以下の理由に分類・集計

	サンプル問題の類似言語が似ている	記述が簡易でわかりやすい、取り組みやすい	よく使われている、評判、流行	AIや機械学習の開発に使われている、今後の発展性	準備が簡単、新たな設備が必要ない	Webサービスも用意されている	活用用途が広い	教科書や副教材で扱われている言語	以前から使っていた	演習のしやすさ	学習分野との相性	実用性がある、生徒が将来よく使う	社会や身近なところでも使われている	直感的な操作がしやすい、入試で必要としない生徒にも楽しく学習できる	ビジュアルで確認しやすい	
Python	55	47	51	35	10	12	20	8	10	10	4	0	2	0	0	265
表計算マクロ言語 (VBA)	5	9	5	0	11	2	0	5	3	3	2	8	2	0	0	53
Scratch	3	0	3	3	3	5	0	0	0	0	5	0	0	5	3	29
HTML	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	4
フリットル	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
C言語	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
Swift	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	63	62	58	37	25	20	20	14	13	13	12	8	4	5	3	

Q9 情報活用能力の育成において、他教科との連携予定はございますか。(複数回答可)

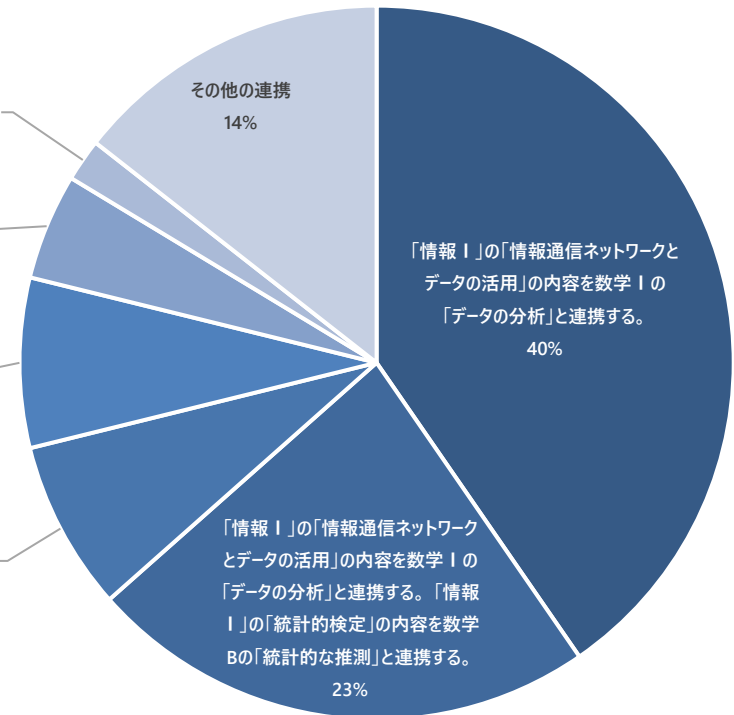


「情報Ⅰ」の情報モラルの内容を社会科公民と連携する。
2%

「情報Ⅰ」の「情報通信ネットワークとデータの活用」の内容を数学Ⅰの「データの分析」と連携する。「情報Ⅰ」の情報モラルの内容を社会科公民と連携する。...

「情報Ⅰ」の「統計的検定」の内容を数学Bの「統計的な推測」と連携する。
8%

「情報Ⅰ」の「情報通信ネットワークとデータの活用」の内容を数学Ⅰの「データの分析」と連携する。「情報Ⅰ」の「統計的検定」の内容を数学Bの「統計的な推測」と連携する。「情報Ⅰ」の情報モラルの内容を社会科公民と連携する。
8%



「その他」

総合的な探究の時間、課題研究の資料作成との連携	5
情報デザインの内容を芸術科と連携、メディア活用（HP作成での作品掲示など）	2
「情報Ⅰ」の問題解決と「総合的な探究の時間」を連携	1
家庭科との連携（シミュレーションの分野と、金融教育との相性が良い）	1
データの活用の基礎を数学科で説明し、情報科で演習、n進法の基礎を情報科で説明し、数学科で演習	2
「シミュレーション」と物理基礎	1

Q10 共通テスト(マーク式)や大学入試(記述式)に対応した、教科書レベルの知識・理解の定着、および差がつきやすいテーマの弱点補強が行える、1冊にまとまった教材(受験基礎力を養成する問題集)があれば採用されますか。

そのような教材の採用は考えていない

2%

未知の教材について
活用イメージを持たれ
ている先生

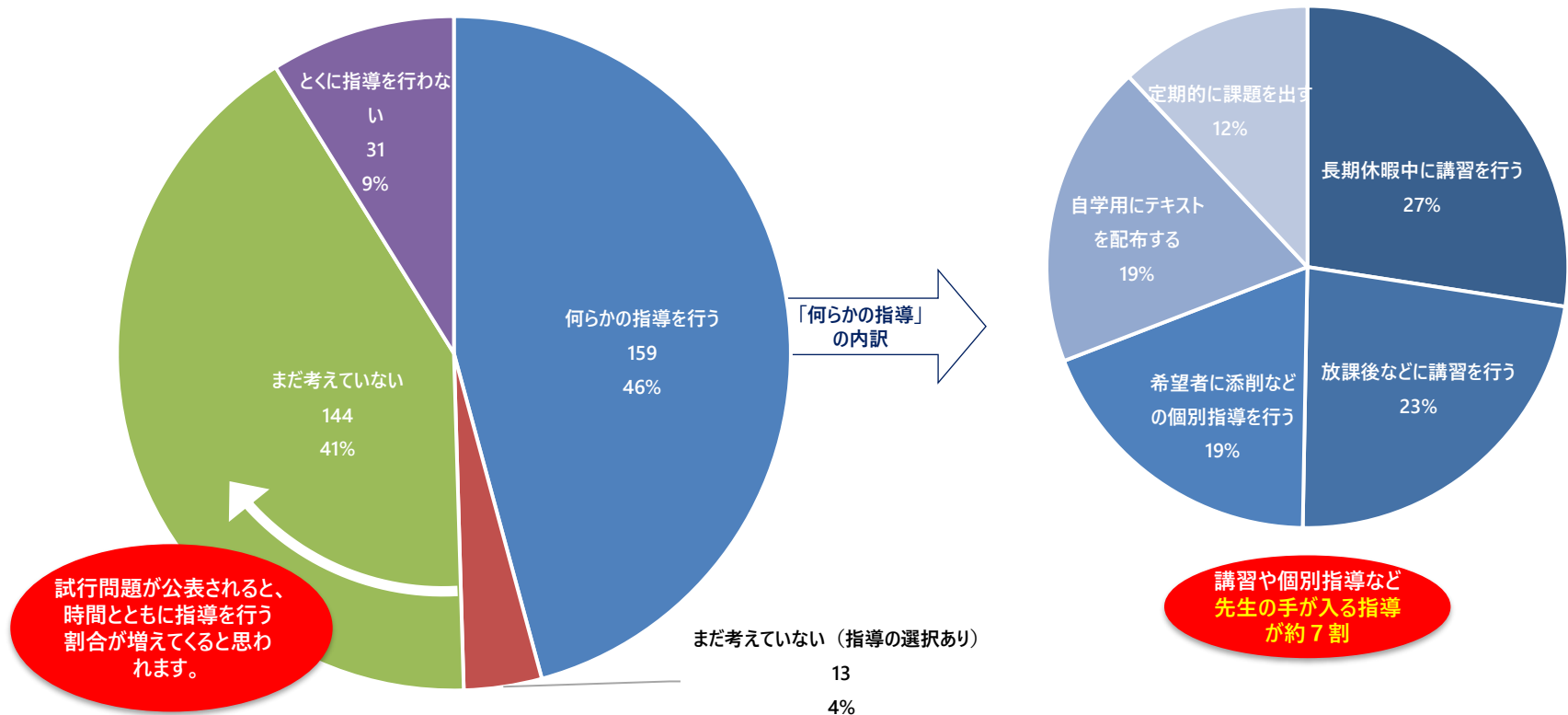
採用を検討したい

17%

見本を見てから検討したい

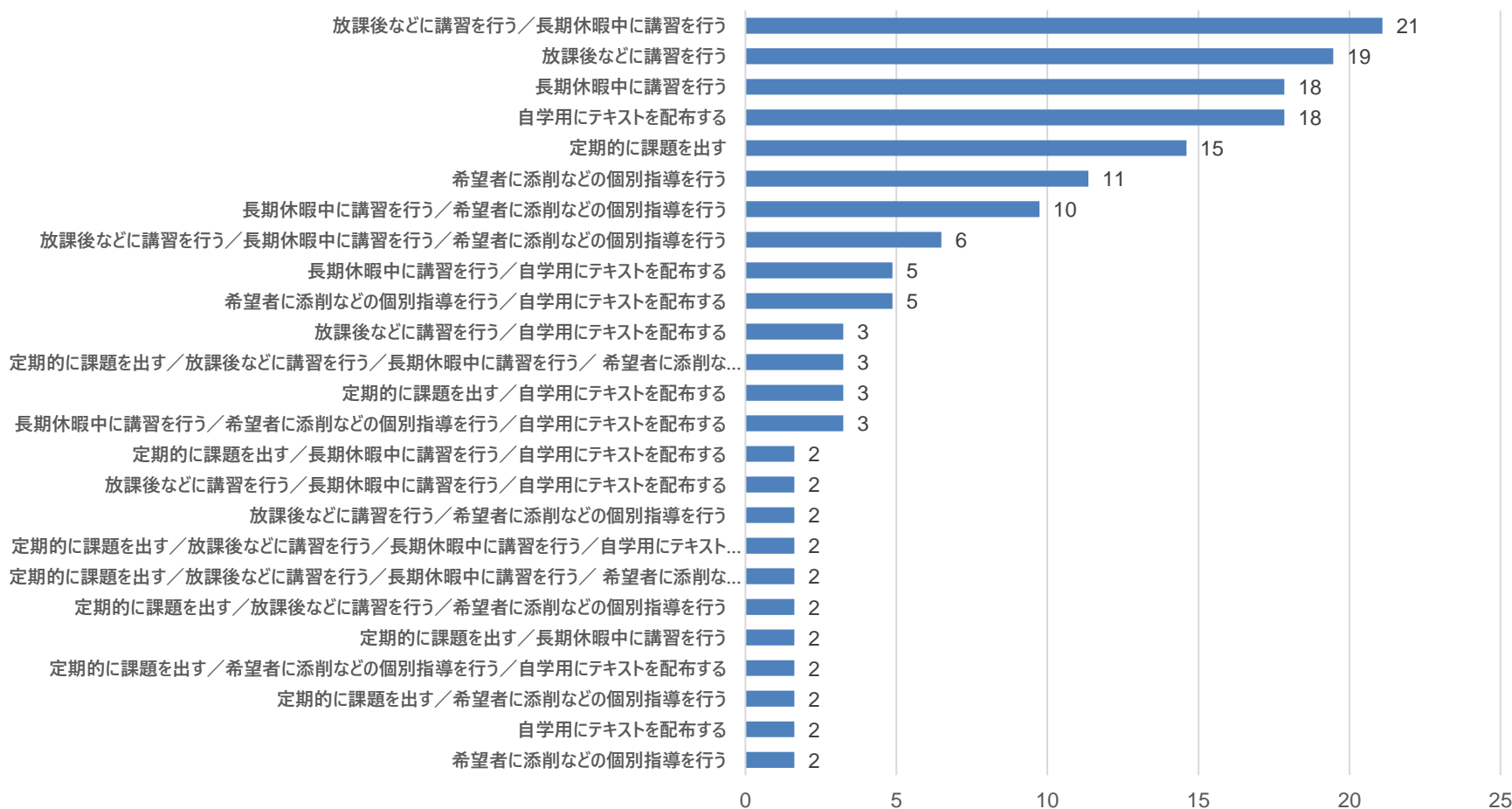
81%

Q11 教科書が終わってから、または教科書と並行して、本格的な受験指導期までの「つなぎの期間」に、何らかの指導をお考えでしょうか。(複数回答可)



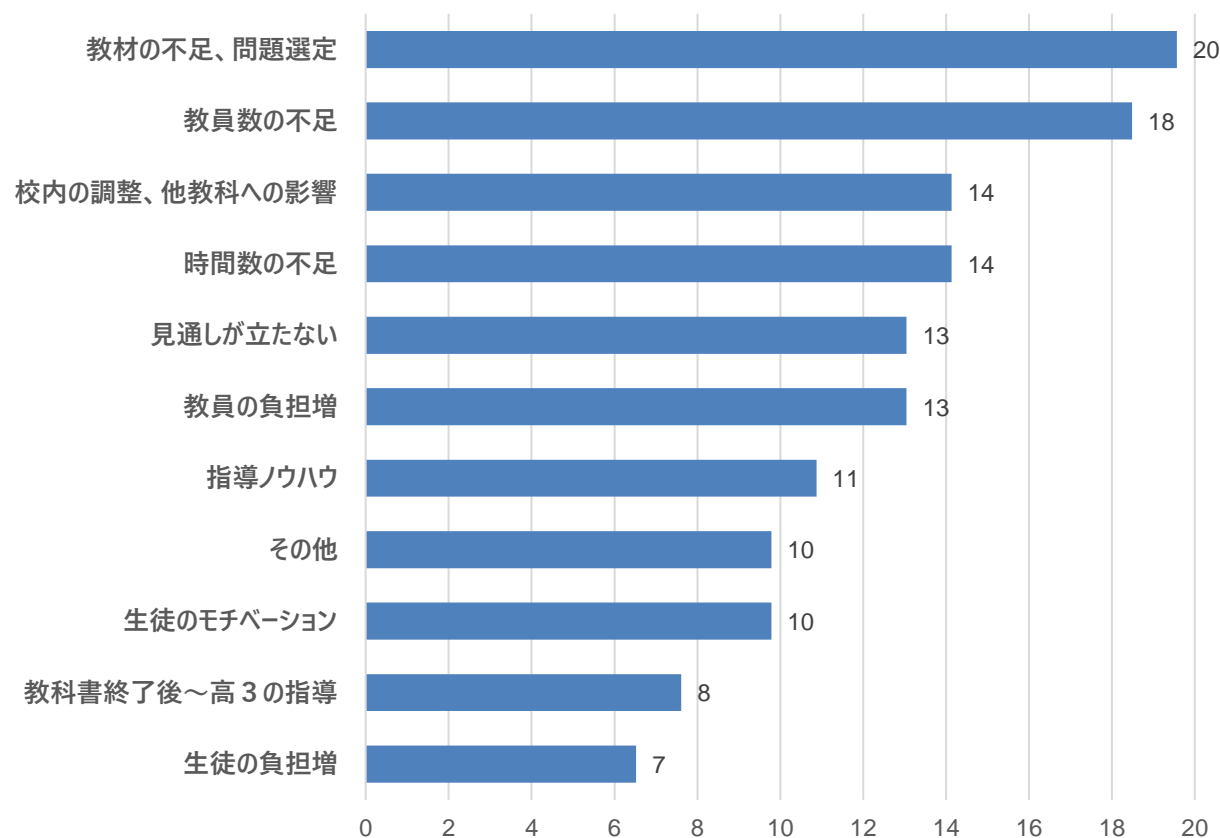
Q11 教科書が終わってから、または教科書と並行して、本格的な受験指導期までの「つなぎの期間」に、何らかの指導をお考えでしょうか。(複数回答可)

「何らかの指導を行う」とされた159名の先生のご回答



Q12 Q11のような、本格的な受験指導期までの「つなぎの期間」のご指導を行う場合、予想される課題（支障）があれば教えてください。

フリーアンサーを以下の理由に分類・集計



教材の不足、問題選定…「指導に必要な適切な教材を自作するほどの時間的、知識的な余裕がない」「共通テストの過去問がなく、問題集もほとんどない」

校内の調整、他教科への影響…「他の受験教科とのバランスを取ることが課題」「講習への新規参入を承認してもらう校内の意思決定プロセス」「本来の担当教科の指導に支障が出る」

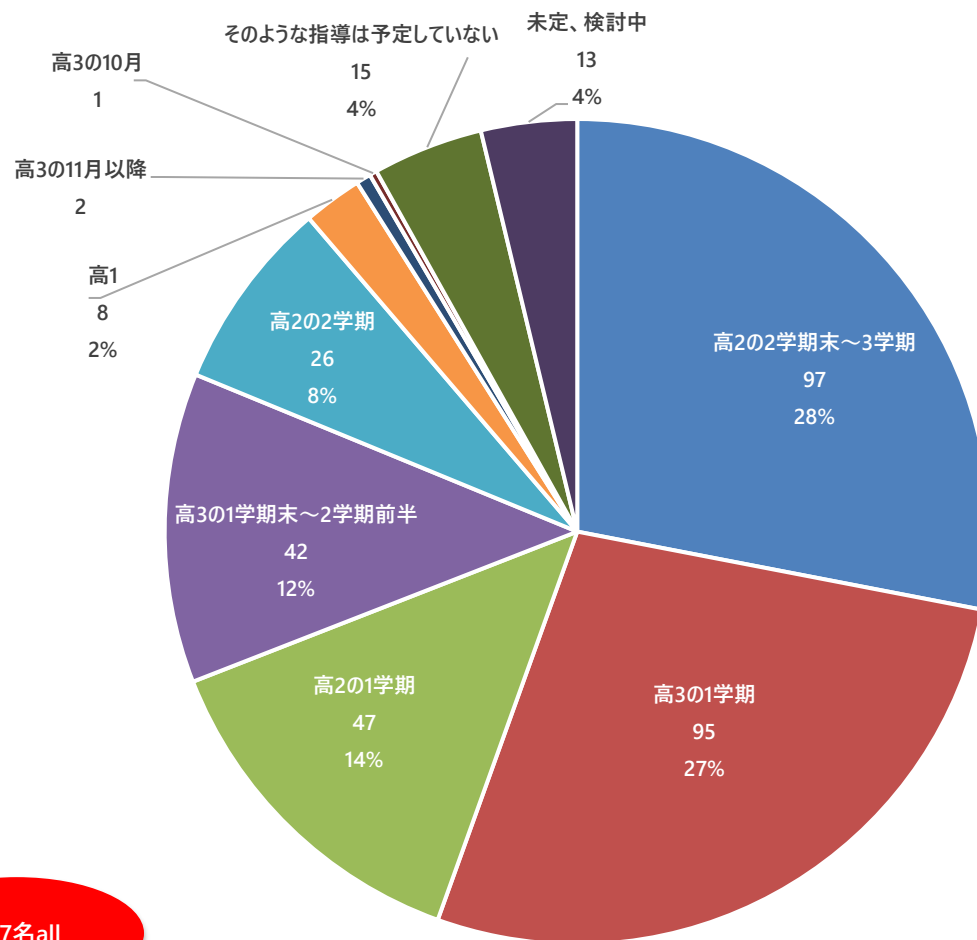
見通しが立たない…「学校としての取り組みが見えない」「講習の参加希望者数が読めない」「生徒も教員もノウハウがなく、どこまで指導、学習すればよいのか見えない」「どのような指導が効果的・効率的なのかを考えるのが難しい」

指導ノウハウ…「生徒からの質問に適切に対応できるかどうか」「復習と補強の仕方」「共通テストに向けて重点的に指導すべき事項がわからない」

教科書終了後～高3の指導…「2年次の空白期間の指導をどのようにすればよいか」「3年次に授業がないため対応出来るか」

137名の先生が課題を挙げられていました。

Q13 共通テストに向けた生徒の意識づけ、および出題の特徴とその学習法の説明など、受験準備指導を行うとしたら、いつ頃に始めたいですか。

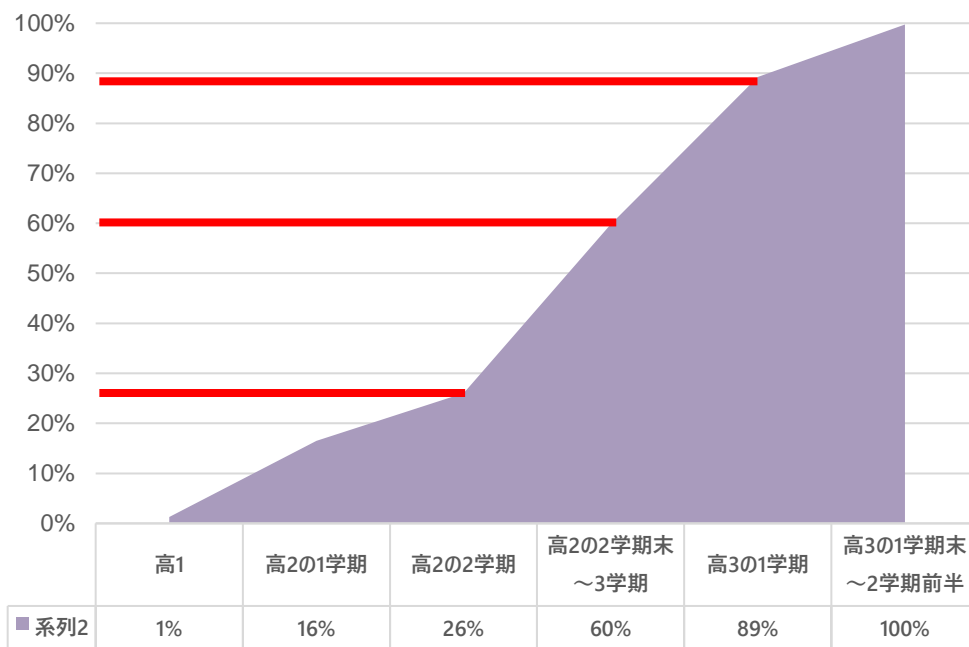
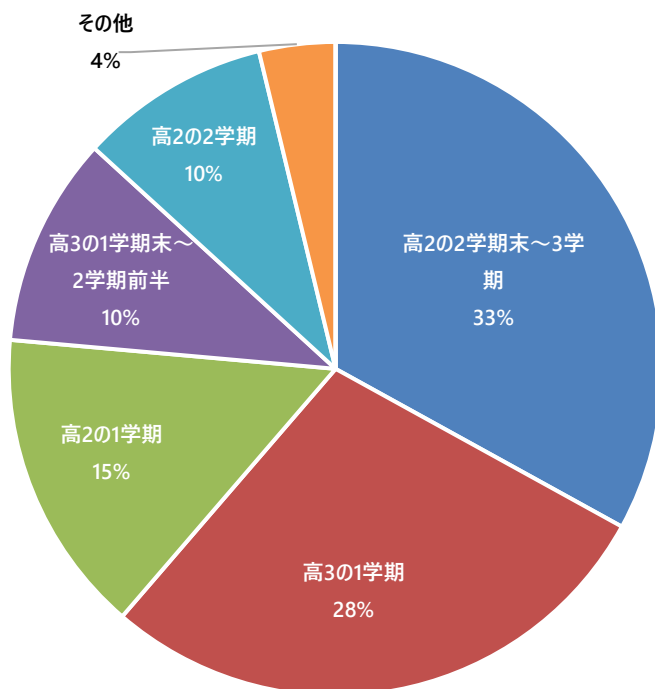


347名all

前問で「まだ考えてない」とお答えの先生も受験準備指導の開始時期を回答されており、潜在的に指導が必要と思われることがうかがえます。

Q13 共通テストに向けた生徒の意識づけ、および出題の特徴とその学習法の説明など、受験準備指導を行うとしたら、いつ頃に始めたいですか。

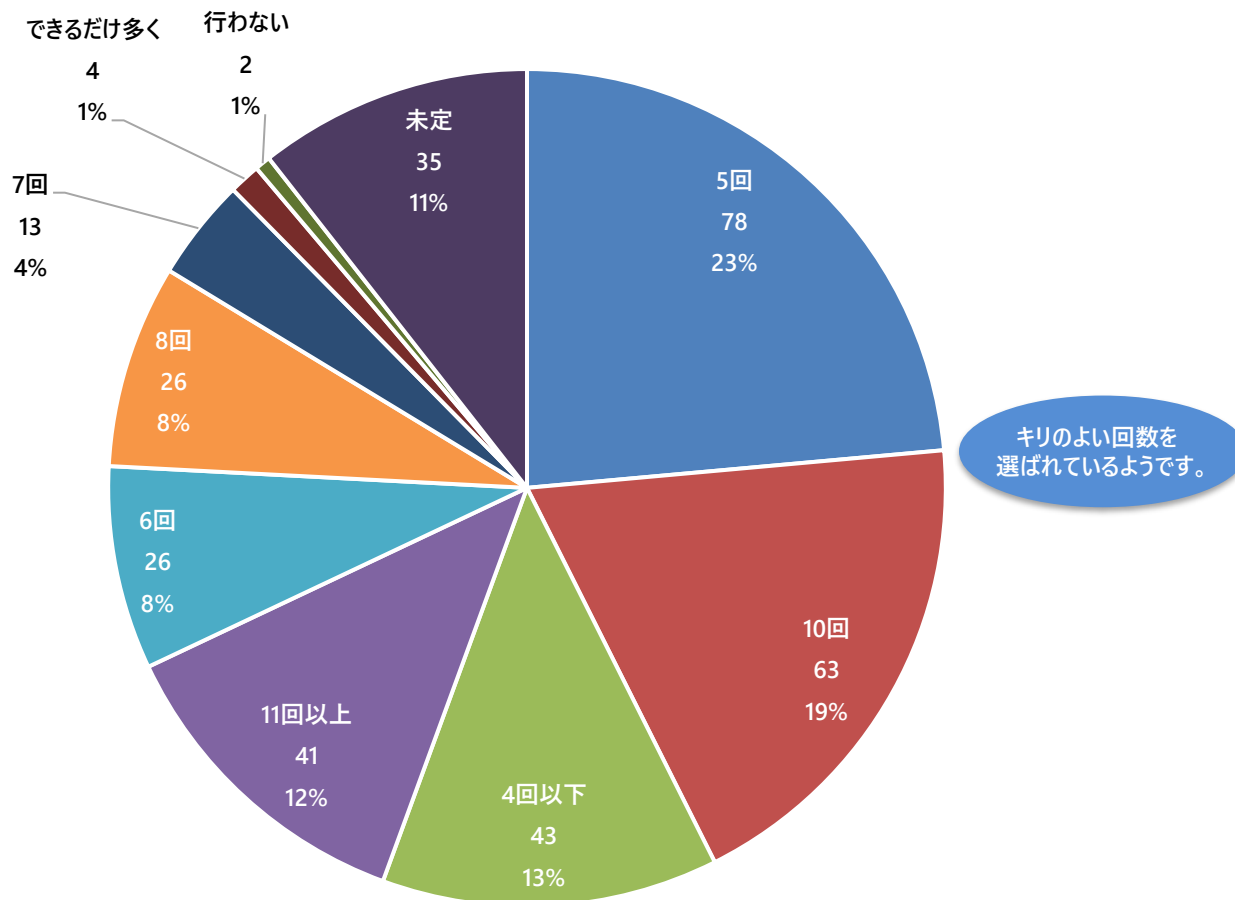
Q11で「何らかの指導を行う」と答えられた159名の先生



時期の順に積み上げてみると(右図)、「**高2の2学期末～3学期**」から「**高3の1学期**」にかけての開始が多いです。⇒高3生の共通テスト受験や、2年2月共通テスト模試のタイミングが、共通テストに向けたご指導を始められる節目になると思われます。

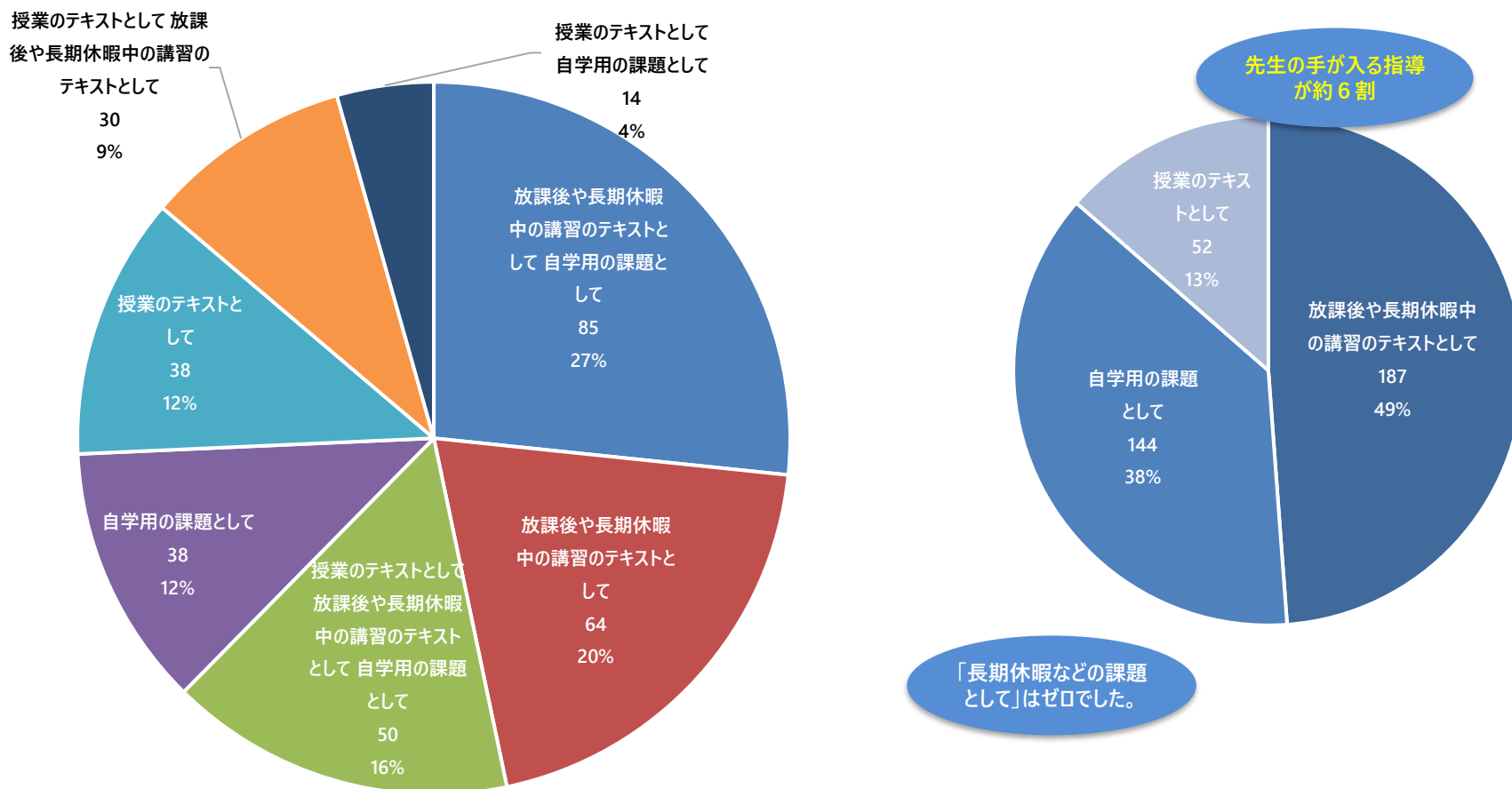
159名
(全体の46%)

Q14 共通テストの実戦演習（共通テストと同じ形式の問題演習）を行うとすれば、何回分の問題（1回あたり60分100点満点を想定）に取り組ませますか。



347名all

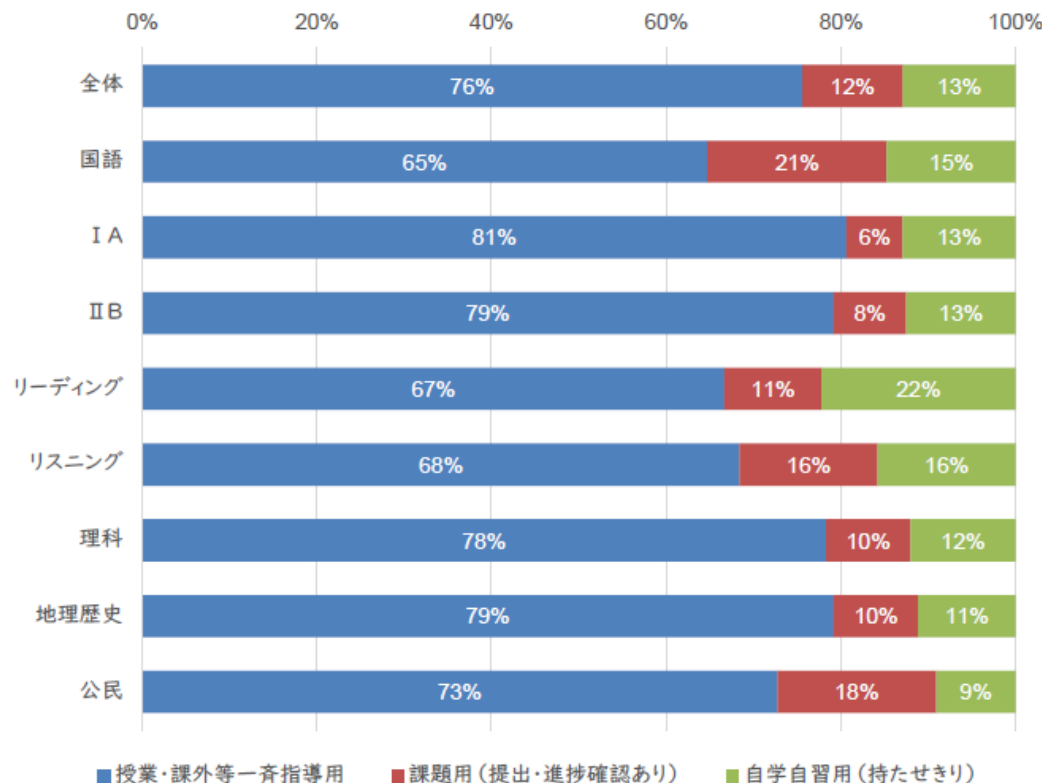
Q15 上記の実戦演習の教材を使う場合、考えられる活用場面を教えてください。(複数回答可)



347名all

Q3-1 「直前演習」のご活用状況について【活用シーン】

他教科の状況です



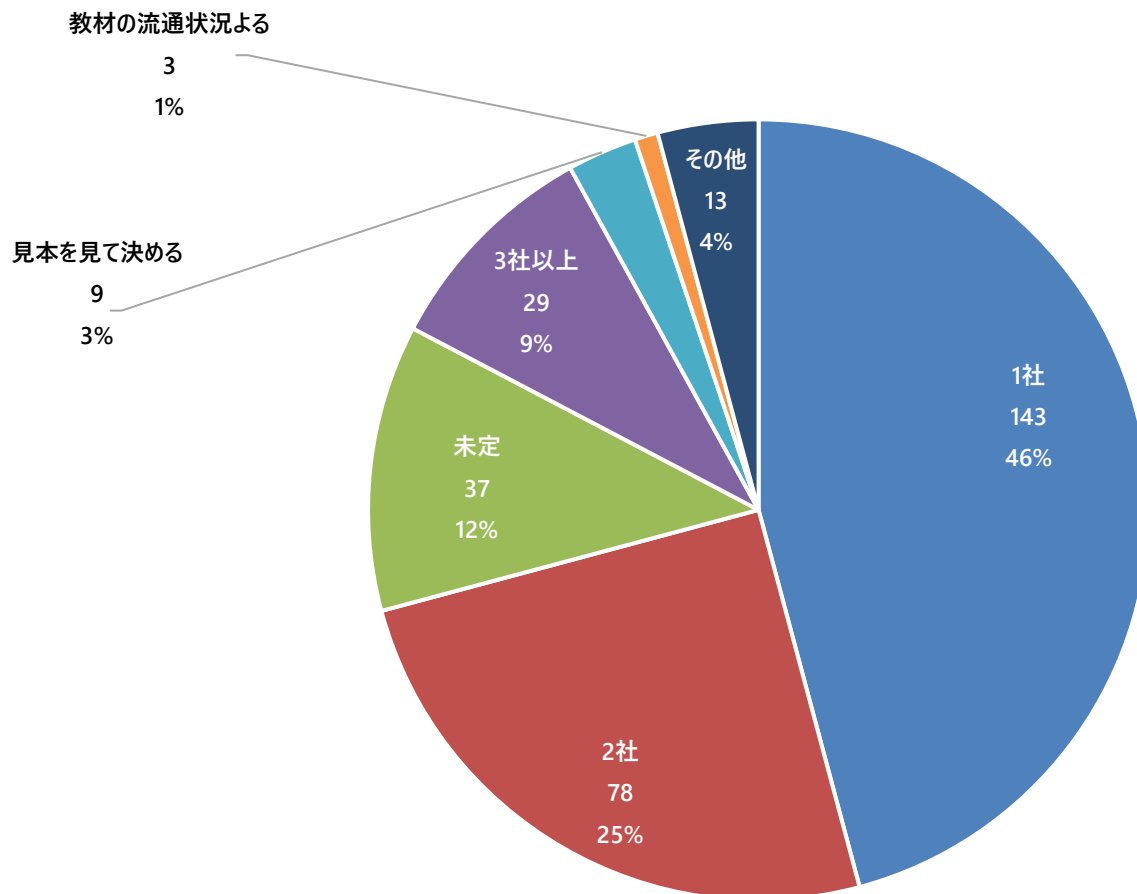
全体では、「授業・課外等一斉指導」でのご活用は76%です。10年前の同様のアンケートでは「授業・課外等一斉指導」でのご活用が86%で、当時に比べて、「課題用」、「自学自習用」の割合がそれぞれ増えました。

数学、理科、地歴公民は、「授業・課外等一斉指導」でのご活用の割合が比較的高いです。

国語は、「課題用」の割合が比較的高く、採用ポイントで「解答解説がわかり易い」を重視されることとも関連しています。

英語（リーディング）は、他の教科・科目にくらべて「自学自習用」の割合が高いです。

Q16 Q15の実戦演習に用いる教材は、何社のものを使いますか。

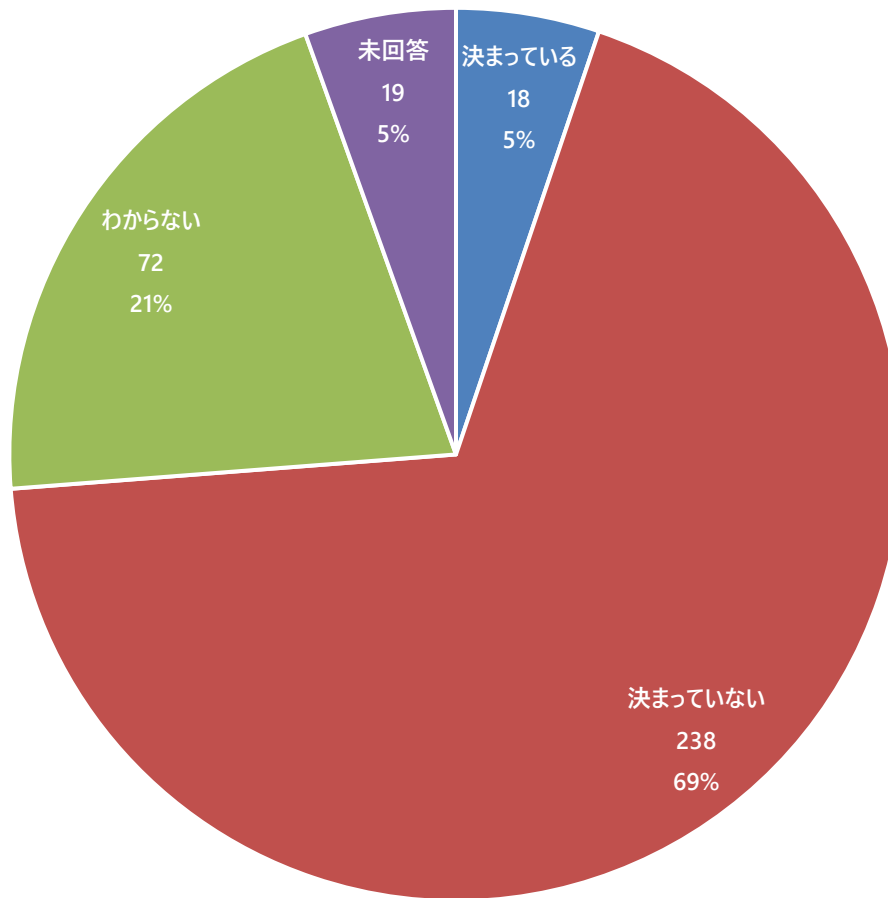


347名all

【その他】

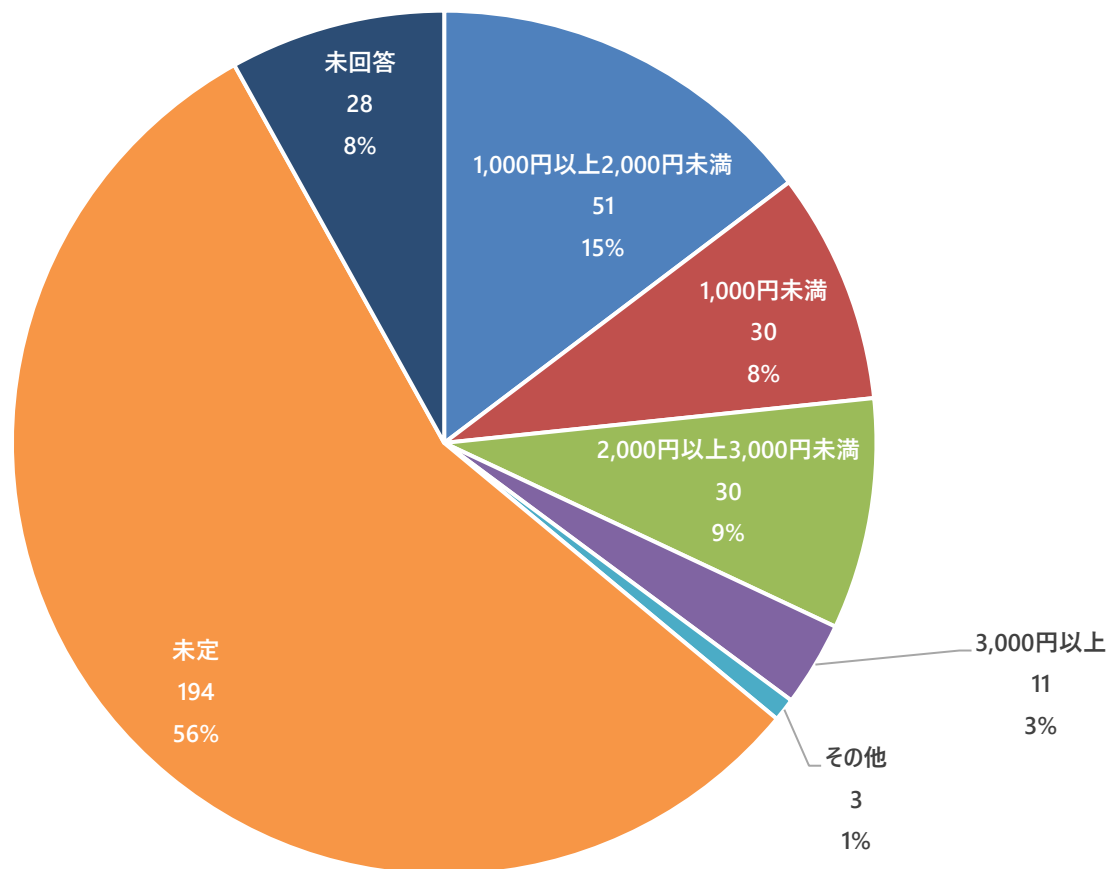
- ・サンプル問題や情報関係基礎の過去問を参考に自作する。
- ・沢山出るなら、色々な会社のものを取り入れたいと考えています。
- ・やらせたい回数から逆算する。
- ・当該教材の内容・ボリュームによる。

Q17 高校3年間を通じて、「情報Ⅰ」の教材(教科書以外の副教材)の予算はお決まりでしょうか。



347名all

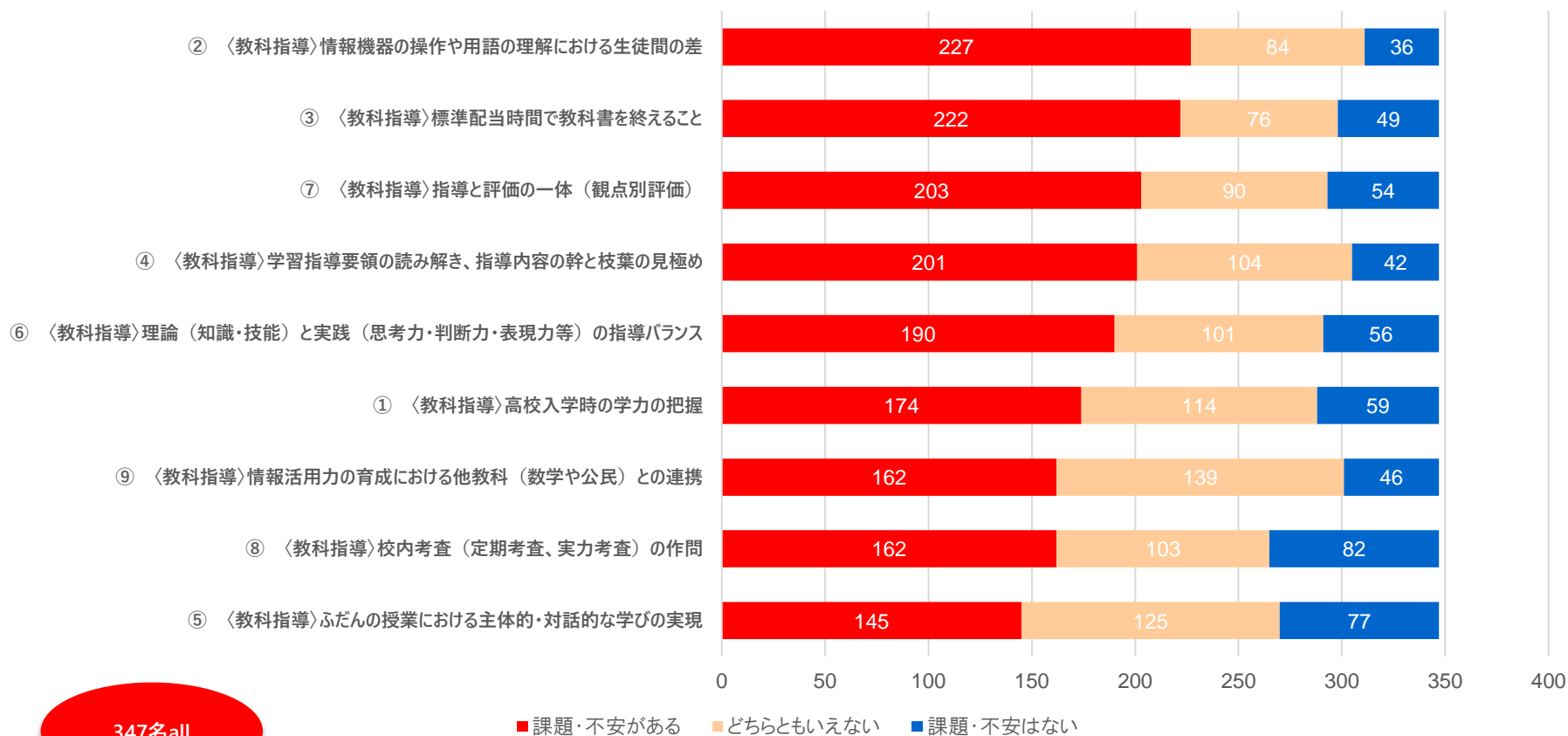
Q18 高校3年間を通じて、生徒1人あたり「情報Ⅰ」の共通テスト対策の教材に使える金額はいくらぐらいでしょうか。



347名all

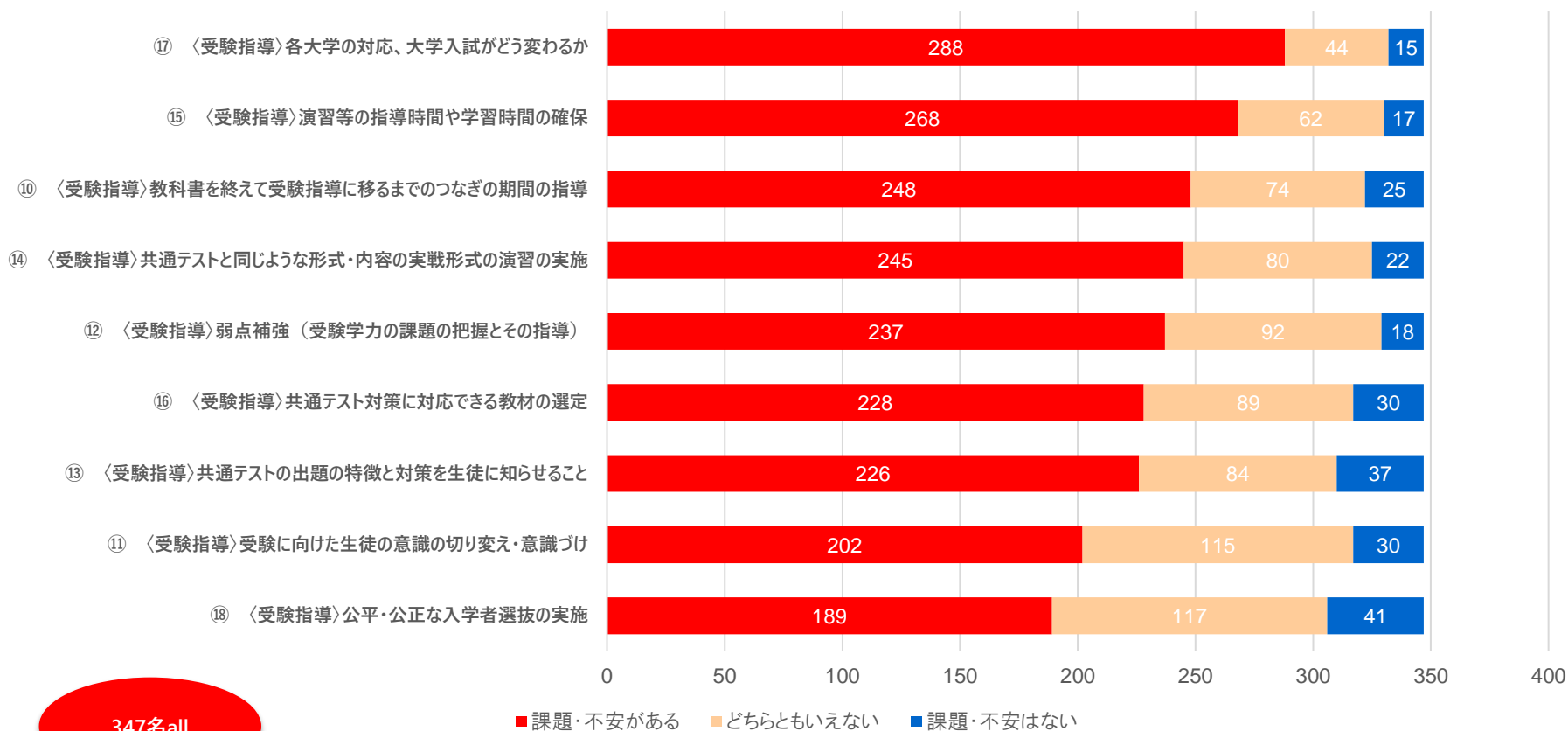
Q19 「情報Ⅰ」のご指導に関する次の①～⑯の事項について、当てはまるお考えや気持ちを、1～3のうちからお選びください。[1課題・不安はない／2どちらともいえない／3課題・不安がある]

教科指導①～⑨



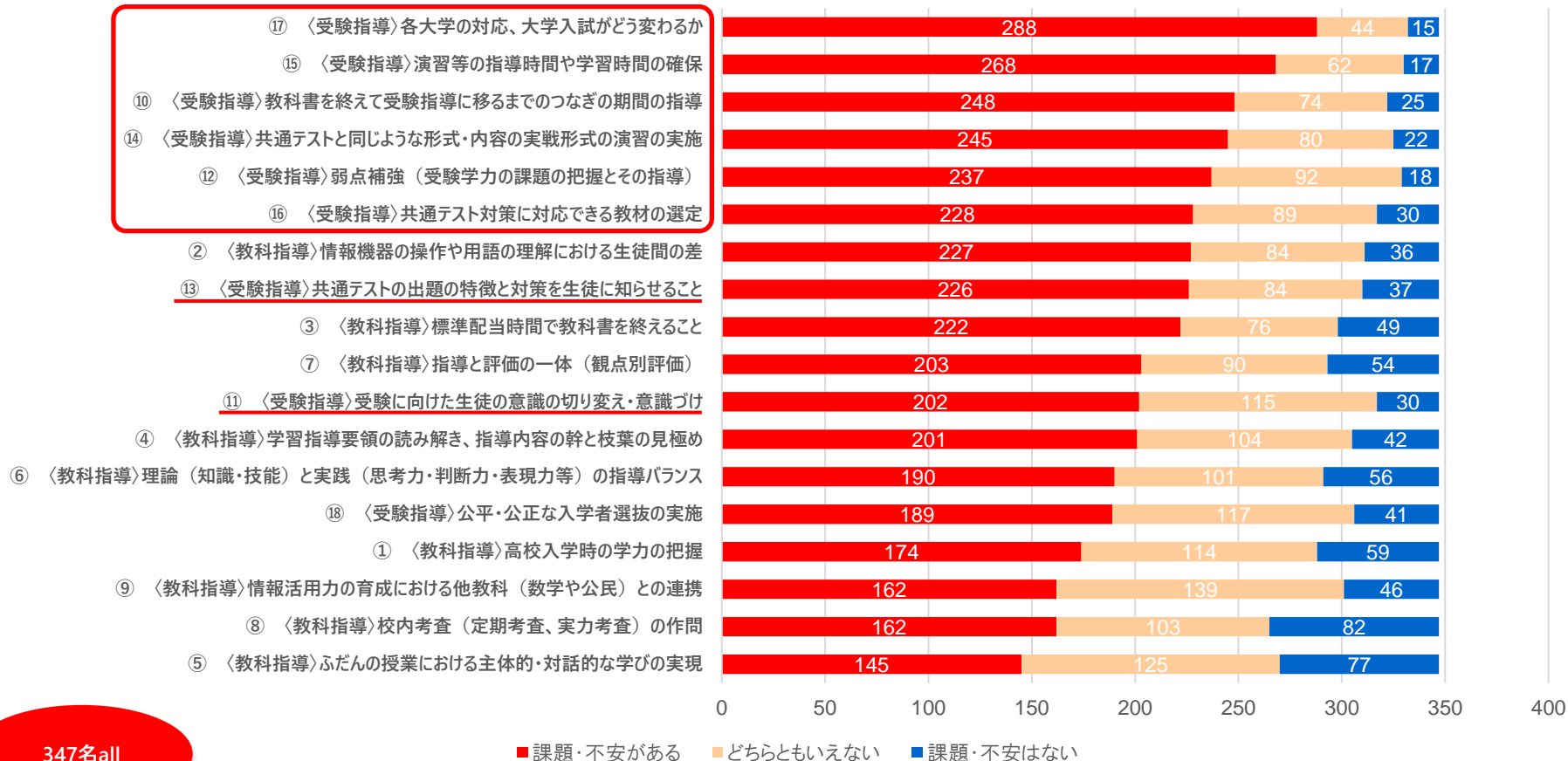
Q19 「情報Ⅰ」のご指導に関する次の①～⑱の事項について、当てはまるお考えや気持ちを、1～3のうちからお選びください。[1課題・不安はない／2どちらともいえない／3課題・不安がある]

受験指導⑩～⑱



Q19 「情報Ⅰ」のご指導に関する次の①～⑮の事項について、当てはまるお考えや気持ちを、1～3のうちからお選びください。[1課題・不安はない／2どちらともいえない／3課題・不安がある]

教科指導～受験指導



347名all

まだ高Ⅰ指導の段階ですが、受験指導に関することに課題や不安が集中しています。

Q20 2022年度中に各大学の対応方針が出される予定で、2022年の秋冬には共通テストの試行問題（配点付き）が公表されます。それ以降において、共通テスト「情報 I」の受験指導をされる際に、予想される課題があれば教えてください。

【指導上の課題】

指導側の知識経験不足

試行問題や各大学の対応方針が発表される前から実際の情報 I の授業をスタートさせなければならないため、指導が足りていない箇所が多く発生する可能性がある。

試行問題が公表されてから、来年度の指導計画を練り直さないといけないかもしれないが、時間が足りるかどうかの問題が考えられる。

プログラミング能力がどこまで必要なのか？

実際にどれだけの大学が採用するのか？

初年度に関しては、問題傾向がわからないためにどう指導してよいかかわからない。
他教科以上に、生徒の能力差、教員の教え方頻度の度合いで差がつく。

情報 I の授業で教える内容が、入試に寄りすぎてしまうこと。
もっと情報自体を学んでもらいたい。

受験のための教科情報になってしまいうえ、主体的で深い学びができるのかどうか課題です。

文系・理系で情報 I を得点に含めるか含めないかが分かれたりすると、全体の指導として統制を取りにくい。

演習のさせ方

指導時期・方法がまだ確定しない。

すでにほとんどの授業時間が消化されたあとで、指導内容に漏れがあった場合にどうするか。

先行きが不透明過ぎて、漠然とした不安がある。

「受験指導」をしてこなかったため、ノウハウがよくわからない。

授業でどの程度まで扱えばいいのか、用語等多いため、教科書で語句程度の取り扱いでも出題されるのか。指導計画が難しい。

各社の教科書で扱われている用語が異なるので、どの会社のものを使う方が共通テストに有利なのかを見極めていかなければならないという課題がある。また、データ活用やデータベース、プログラミングをどこまで学習させれば共通テストの範囲を網羅できるのかがまだ見えてこないという課題もある。

本校では5教科が各学年4~8単位あっても国公立大学合格者なしなのに、情報を1年2単位で合格者を出すのは不可能だ。大学入試情報は現状のままでは、必ず失敗する。

・2025年度に共通テストを受ける学年の「情報 I」の授業が半分以上終わってしまっていること、またカリキュラム的に2年以降に「情報」の科目を入れることが難しいことで、現1年生に受験も見据えた授業の展開や問題演習を行うことが難しいこと。

・昨年度公表されたサンプル問題の内容を解ける力をつけさせようとする、「情報 I」の時間数では足りず、実習や演習を行う時間が極端に減ること。

・今までの「情報関係基礎」の問題と同じような形式の問題になると仮定すると、教科書の内容を行っただけでは解けるようになるとは考えにくく、共通テスト専用の練習を行う必要があるが、その時間を確保することが教員、生徒ともに難しく、生徒にとっては負担が大きいこと。また、その練習を行うことで、情報活用力や「情報」の授業で本来身に付けたい力が伸びるとはあまり考えられないこと。

学習内容が試行問題に偏ってしまう可能性がある。

Q20 2022年度中に各大学の対応方針が出される予定で、2022年の秋冬には共通テストの試行問題（配点付き）が公表されます。それ以降において、共通テスト「情報Ⅰ」の受験指導をされる際に、予想される課題があれば教えてください。

【指導上の課題】

教科書によって記述の深淺があり、どこにターゲットを当てたものになるのか。不足の場合は、冬から追加指導をしなければならなくなる。

試行問題の公表までに各大学が情報の受験を必須とするかどうか、配点の割合がどのくらいになるのかを公表していないと、生徒の情報受験の意識が高まらない可能性があることと、わからないことに対する生徒の不安感が高まるのではないかとのこと。

各大学の対応方針が分からないと計画や判断、課題は分からないと思います。

教科書の知識で解けるはずだが、その知識の使い方が分からなくて解説が難しい。

プログラミングに関する問題や計算問題など思考力を問われる問題を積極的に取り組む生徒とそうでない生徒で差が生まれるかもしれない。また習熟度に差があるため、理解状況に応じて指導方法を分ける必要がありそうだ。

どの学校においても3年次の教育課程に情報Ⅰの演習ができる時間が設定されているかどうか？例えば、転勤して、いきなり3年の情報を指導しろと言われたときに、授業はないが、放課後や長期休暇での補習や家庭学習課題で受験指導しろと言われると無理である。

対策として何をさせるか。

プログラミングの問題において、擬似言語をどれほど理解して解くことができるか。

教育課程上、3年生で情報Ⅰの授業を行えないため、長期休業期間以外に「復習」を行う機会をどう設定するか。

情報Ⅰの内容が多岐にわたるので、2単位で全部を指導することが難しい。

プログラミングの内容、教科書以上の内容の指導に不安がある。

試行問題についても生徒の理解が追いつかないものであった。どのレベルの問題が出題されるかが課題であると考える。

そもそも、専任の教員で情報をまともな指導できる教員がいない。

自分自身もそうだが、免許は持っていますが、専門的に情報を学んだわけではないので、授業を行うことに不安がある。ましてや、共通テスト（受験）の情報を教えるということにはより不安が大きい。

出版社により教科書の内容が違っているので、現在使用している教科書の内容以外にも幅広く指導するのが分からない。また、どこまで幅広く指導したらよいのかが分からない。

プログラミングで特定の言語が使用された（されなかった）ことで指導内容を変えなければならない可能性がある。

セキュリティ対策はその都度変わる可能性が高いのでその対応

私は今年から再任用なので、長期的視点からの取り組みはできない現状です

必要な生徒の把握、担当者の人数

他教科との兼務のため、専念できない。

自学自習に適した教材が欲しい。

Q20 2022年度中に各大学の対応方針が出される予定で、2022年の秋冬には共通テストの試行問題（配点付き）が公表されます。それ以降において、共通テスト「情報Ⅰ」の受験指導をされる際に、予想される課題があれば教えてください。

【指導上の課題】

1年生段階では、教科書をすすめることで精一杯。受験指導としては、3年生になってからになるだろう。

1年次の情報Ⅰの履修の後、受験対策指導を開始するまでの空白をどうとらえるか。また具体的な指導内容や指導方法についても検討の余地がある。

教員側の指導力

一年間で受験指導する上で十分な基礎力の定着ができるかどうか。

高3に2単位の受験指導寄りの講座を置くことになった場合、1年間の教材の確保や評価の方法について。

以前、情報の免許を取得した時はプログラミングは教える必要はないとまでいわれて、今教えなければならなくなったことに対して不安を感じています。

情報提示が遅すぎるので、長期的な計画や対策を考えにくい。

短い時間で対応が必要となり他教科への時間的圧迫や現行の受験指導の内容に大きく影響を及ぼすと考えられる

Q20 2022年度中に各大学の対応方針が出される予定で、2022年の秋冬には共通テストの試行問題（配点付き）が公表されます。それ以降において、共通テスト「情報Ⅰ」の受験指導をされる際に、予想される課題があれば教えてください。

【時間確保、負担増】

受験生への負担。科目数増加になるので。

指導時間が根本的に不足

演習時間の確保

扱う内容量に応じた授業時数が十分に確保できるかどうかを検討する際、他教科との兼ね合いを考えると大きな課題となってくるように感じます。

情報の教員が専任でないため教材研究の時間が確保できない

実際に「情報Ⅰ」の受験指導にあたるのが可能な教員の確保。共通テスト「情報Ⅰ」の演習を行う時間の確保、教育課程上の位置づけ。

勉強、指導時間の確保

他教科との学習時間・課題（宿題）のバランス調整

3年時に「情報Ⅰ」を教育課程に入れるかどうか

高3の授業で、受験指導する時間の確保

1学年で情報Ⅰを終えるクラスは共通テストの話をする時間が授業で取れない。

既に履修が終わっているため、補充の時間を設定することが難しくなる。

授業では1年生でのみ「情報Ⅰ」を学ぶので、2年生以降に継続して情報を学ぶことができない。

1年生で一旦終わった授業を受験前に再び教えるのは無理がある。無駄がある。

他教科との兼ね合いのある中で、指導時間が確保できるかどうか。

授業の確保・課題の準備

模試の実施。解説の時間確保や教員の人数確保。

時間と教員が足りない。

指導時間の確保

2年次から対策・指導をする必要があるのは把握しているが、物理的に厳しい部分がある（指導できる教員が他教科と比べて圧倒的に少ない）

3学年で指導の時間が設定されるかどうか分からない。

Q20 2022年度中に各大学の対応方針が出される予定で、2022年の秋冬には共通テストの試行問題（配点付き）が公表されます。それ以降において、共通テスト「情報Ⅰ」の受験指導をされる際に、予想される課題があれば教えてください。

【時間確保、負担増】

カリキュラムとして情報の演習時間が取れていないこと

指導における授業時間確保。附属中学校があり入試業務で時間が割かれることが想定されるため。

復習演習のための時間の確保。平日に、どう効率よく設定したいが、物理的に厳しいことが予想される。

情報担当者が、校務支援システム、GIGAスクール、ICT他日常業務終われていること、授業担当者が1人、情報担当も1人、システム運用担当者も1人と負担が一気に来ている。心身に不調が出ている中で受験指導もとなると、果たして大丈夫なのか不安しかない。実習助手配置等複数教員で受け持ちができないとパンクしてしまう。正直、受験指導どころではない。

Q20 2022年度中に各大学の対応方針が出される予定で、2022年の秋冬には共通テストの試行問題（配点付き）が公表されます。それ以降において、共通テスト「情報Ⅰ」の受験指導をされる際に、予想される課題があれば教えてください。

【共通テストの難易度】

情報処理検定の類の出題の時は対応できない。

各大学の配点や共通テストにおける難易度など、現時点で不確定な部分が多すぎて漠然と不安を抱えている。

今までの試行問題を見て教科書の内容を超え、応用問題となっていることが大きな課題と考えています。

試行問題の難易度の高さ、実際の試験との差が大きいこと。対策問題の不足。

本校で採用している実教の図説情報Ⅰを逸脱する内容の出題があると予想される。大学側としては従来の情報処理として扱い、多くの教科書を見て、重箱の隅をつつくような出題をする可能性がある。また、知識に偏った出題になるのではないかと。試行的な問題は高度になるのではないかとといった不安がある。最初の共通テストがきっかけで、現在の情報教育がゆがめられる可能性がある。

共通テスト試行問題について、ある程度の平均点を想定した問題が出題されないと生徒は必要以上に難しく感じてしまうのではないかと。

おそらくサンプル問題よりは一段難しいものとなると思いますが、その難易度の高い部分が教科書のどこから出るからかによって、授業で扱う範囲が変わると思います。

どの程度の知識まで要求されるか

結局、試行テストが1~2回では、出題傾向や、どこまでの学習が必要かなどが見えないので指導に悩む。また、大学の方針により、指導の方針が変わってしまうので、早い情報が欲しい。

サンプル問題の少なさ

特に難関大学を目指す生徒への多大な負担。上の問①から⑧は不安ではなく、すべて課題です。課題だらけです。全国の受験生が塾に通って頑張っても30点台の平均点となる(数学)ような問題が、全受験生の共通教養だという認識は容認できません。そのような認識で作問される情報も、とんでもないものになるのではないかと大いに心配しています。

共通テストの試行問題の平均点が何点ぐらいになるのか、何点を狙った指導をすべきかはっきりしていないこと。

共通テスト情報Ⅰの出題内容・問題形式が見えない。サンプル問題を解いたが、従来の情報基礎に近い出題で、本番では教科書の全範囲をバランスよく出せるのかそのままたのかが見通せない。

前回のサンプル問題は、非常にひどい問題で、教科書にない内容が出題されていた。

プログラミングに対する配点がどの程度か。

重要語彙の変更はどれぐらいの頻度で行われるのか

1. 参考書や問題集の少なさ 2. 模擬試験での出題がされない 3. 問題の難易度が不明確

どの分野がどの程度の程度、どういうレベルで出題されるか？

Q20 2022年度中に各大学の対応方針が出される予定で、2022年の秋冬には共通テストの試行問題（配点付き）が公表されます。それ以降において、共通テスト「情報Ⅰ」の受験指導をされる際に、予想される課題があれば教えてください。

【教員配置に関すること】

学校としての指導体制

情報専任教員がないため、共通テストのための学習にならざるを得ないこと。

情報の担当が一人なので、通常授業と対策の両方を実施できるかが不安

現在、1年次に情報Ⅰを実施しているが、次年度以降にどのような指導をすることが必要か、またどのように対応すればよいかといった方針を学校として定めなければいけない。

対応できる教員が不足している。

学校に一人の情報科教員で1年必修授業と3年受験対策をやるのは難しい。臨時の講師の指導する教員の能力に不安がある。

【教材に関すること】

問題集や参考書がほぼないこと。

類似問題をどうやって手に入れて生徒に実施するか。

試行問題に基づいて、共通テスト対策に必要な教材選定を行うこと

共通テストに沿った問題集がどれくらい出版されるか。

多くの対策問題集がある中から必要な問題集を探すこと

プログラム関係の出題に絞った問題集

模試（ベネッセや河合塾など）がどのような内容・スケジュールで出題してくるかに関心があります。それに対応した問題集等で受験勉強していくことになってくると考えている。

演習問題集が出揃っていない

共通テスト「情報Ⅰ」対策の問題が圧倒的に足りません。

とにかく問題がたくさん必要です。

発売される問題集は試行問題の中身をどの程度反映したものにできるのか疑問なので、その不安を解決できるかが課題

今は サンプル問題を見ながら指導をしているのですが、問題の情報量が少なく、不安です。

受験対応の問題集の少なさが問題。

基本情報技術者試験の内容をアレンジされたもの

「進研WINSTEP 情報 I [新課程版]」

発刊日	2023年秋(9月以降)
価格(予価)	800円(税込み)
構成	本冊(問題) 別冊(解答解説) 動画解説付き 教師用資料(ダウンロード提供)
対象	共通テスト「情報 I」を受験する高校2年生、3年生
活用時期	高2の2学期末~3学期、高3の1学期に使用開始~高3の2学期前半まで使用
活用場面	課外・長期休暇中の講習用テキスト、自学自習用テキスト
コンセプト	<p>自学自習で共通テスト「情報 I」に向けた学習ができる</p> <ul style="list-style-type: none"> □ <u>共通テスト情報 I の概要を把握し、意欲をもって学習に取り組める</u> □ <u>共通テスト情報 I で必要な基礎的な知識と概念を習得できる</u> □ <u>多くの受験生がつまづきやすいテーマの問題を補強できる</u> <p>〈特長〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・共通テスト情報 I の出題の背景と学ぶ意義、出題の特徴がわかり見通しがもてる(巻頭) ・教科書横断で共通テストで問われる知識と概念を習得(STEP1) ・差がつくテーマの例題と演習でつまづきを解消(STEP2・3)

※ 掲載の教材内容は予告なく変更する場合がございます。あらかじめご了承ください。

本資料の内容を、無断転載することを禁止します。
 各種コンテンツに転載する場合は事前に弊社までご連絡ください。
 本資料に関するお問い合わせや、
 教材のご注文・見本請求などは、下記窓口までお願いいたします。



ラーンズ お客様センター 0120-548155 通話料無料

本社: 〒700-0807 岡山市北区南方3-7-17

受付時間/月~金 9:00~17:00(祝日、年末・年始を除く)